夕刊 滿洲日報 THE MANSHU NIPPO 昭和四年十二月二十三日（月曜日） 第八千四百八十六號 （一）

哈府で暗礁に乘上げた露支兩國の交渉難點
ロシア側は市民が示威運動　決裂には至るまい

【ハルビン特電二十二日發】案外スラ〳〵進行してゐた哈府の露支交渉は十九日ロシア側は市民の示威運動を行ひ國境の支那軍撤退、拘禁者の即時無條件釋放各支那機關に採用さるゝ白系露人中、今回の紛爭を誘發した者の解雇反ソウエート反動團體の解散等を速に支那に承認せしめよと聲明し尙露實に於ける白系露人ルーボル、ザリヤ、ルースコエスロウオ等の反ソウエート紙の發行停止を要求しシマノフスキー全權は露支紛爭の責任者たる張景惠、張國忱を即時辭任せしめることを主張して讓らず支那側のロシア系の蒙古軍が海拉爾以西に駐屯し諸所占領せること滿洲里の軍制を即時廢することを要求し交渉は遂に暗礁に乘上げた模樣である

然しニコリスクに於ける議定書に調印せる點から兩國は決裂には至らぬかも知れぬが、[illegible]側に逢着したのは事實である、蔡全權はロシア領事館員ココリン氏と共に二十三日歸哈の豫定で蔡氏は直に奉天に向ふ筈である

樂觀說も傳はる

【ハルビン特電二十二日發】哈爾賓に駐留せるソウエート代表者の稱するところによると哈府の豫備交渉は圓滿解決し假議定書に調印したと云ふ一方には、悲觀說流布され樂觀二樣に分れてゐるも大體に於て周圍の事情は樂觀されてゐる

國際列車を再び西部戰線へ
海拉爾滿洲里救濟に

【ハルビン特電二十二日發】國際列車は支那側の無理解により二十一日布哈圖を出發二十二日歸哈したが、再度張學良氏に交渉し滿洲里、海拉爾救濟の國際列車を出す筈

即死邦人の氏名判明
滿洲里の被害

【ハルビン特電二十二日發】滿洲里の日本旅館に砲彈の破片が飛來した際、即死した婦人は水木ふじ代といふ、負傷者は滿鐵吉武正夫氏で、氏の嚴父は東京藏前高工の校長夫人は目下姙娠中の爲め一切知らさぬことにしてゐる

直通電話不通
哈市哈府間の

【ハルビン特電二十二日發】哈爾賓、哈府間の直通電話は二十日突然切斷した

休會明け直後の解散は困難
積極的に出る口實がない　貴族院方面の觀測

【東京二十二日發電】來議會の解散に關し貴族院各方面では左の如き理由に依り解散の題目に窮し政府の言ふが如く休會明け早々の解散斷行說を否認してゐる

即ち 政府が積極的に解散を斷行したる前例は之を原内閣に求められる、原内閣では當時野黨より普選案を提案されたるに對し斯る重要法案は豫め輿論に問ふの要ありとして解散したのである、然るに現内閣は少數黨なるが故に組閣直後解散の機會があつたに拘らず之を爲さず然かも重要政策たる金解禁の斷行を獨斷を以て決定したる以上原内閣當時の如き解散の例に倣ふことが出來ない從つて政府は今や積極的解散の口實が失はれてゐる形であると言はねばならぬ

而して 一方野黨側の態度を見るに實行豫算に關し議論反論あり、本問題は朝野兩黨各々言ひ分あり結局五分々々であつても目下の各府縣會の大紛糾に鑑み野黨側として痛撃すればするだけ對選擧戰には有利に展開すべく疑獄事件は兩黨相殺の形勢でもあるの

斷行期促進を伊澤氏が進言

【東京廿二日發電】貴族院側では別項の如く來議會の解散斷行遲延說の擡頭し來つた折柄貴族院同成會の伊澤多喜男氏は二十一日濱口首相を訪問し政府は類下の政情に徵し解散斷行期の促進を進言したと傳へられ各派では政府の態度に注目を加へてゐる

尙更野黨としては本運動論の論議を盡さざる間は不信任案を提出せざるべく政府は解散の口實如何では選擧戰に重大影響を及ぼすから機會を捉へるに相當苦心を要する事であらうと云ふに在り尙一部では疑獄事件の進展に依り朝野兩黨共に黨勢擴張に相當苦悶してゐる事實よりして本議會を豫想してゐる

安達内相と與黨懇談
議會對策協議

【東京二十二日發電】安達内相と民政黨幹部の懇談會は二十一日午後六時から内相官邸に開會黨側から藤澤、賴母木、中村（啓）富田原（脩）櫻内、本田、武内（小山櫻井等缺席）の八氏出席、先づ對議會策につき協議の結果議會の解散は休會明けの後正々堂々と斷行

佛國外務省より四國に覺書發送
軍縮問題の態度表示

【パリー二十一日發電】フランス外務省は日本、イギリスアメリカ、イタリーの各國政府に覺書を送り海軍々縮問題に對するフランスの態度を明かにしたと確聞する、尙右覺書中フランスは一月二十一日ロンドンに開かるべき五國海軍々縮會議を國際聯盟軍縮準備委員會に對して豫備的のものたらしむべきだとの見解なる旨を特記してゐると解されてゐる

一般會計總豫算
十六億二百六十萬圓

【東京廿二日發電】明年度豫算綱要は廿三日午前配布發表の筈であるが、これに依れば議會提出の一般會計豫算總額は十六億二百六十餘萬圓であつて先月十日閣議決定の豫算に比して減額されたるもの

一、獨逸賠償金六百三十萬圓
一、南洋廳補充金五十萬圓

增額されたるもの

一、駒ケ嶽爆發災害復舊費其の他責任支出費目の四月以降の分を本豫算に計上せるもの六十餘萬圓

等の變更が加へられたので總額に於て六百十餘萬圓を減少したるものである

する旨の既定方針で邁進すべきは勿論なるも只政友會が森田政義氏は飽く迄失格に非ずとの主張に基いて進み召集當日出席せしめんとするに於ては衆議院は資格なきものとして拒絕すべく之に依り若いて開院式後議會が開かれた場合政友會の態度如何に依つては茲に政府並に與黨對野黨の衝突となり如何なる波瀾を生ぜんとも限らず依つて其の結果如何では休會明けを待たず手として年内解散を行ふことに一致した、續いて選擧革正に關し内相より經過報告あり最後に各自各地方の選擧地盤につき報告あり之に基き公認候補の銓衡に入り此の際極力濫立を防止し絕對過半數の確保に努むることゝし十時半散會した

閻、張兩氏連名の通電内容を發表
故孫文氏の遺訓を實行して中央統一を擁護

【北平特電二十三日發】閻錫山、張學良兩氏連名の時局和平通電は幾度か發したと傳へられたが、遂に廿日太原發廿一日午後八時北平で發表された閻錫山、張學良、劉鎭華、陳調元、馬福祥、何成濬等の連名で内容大體次の如し

十數年來内亂續き國家日に衰へ外侮を招くこと日に太し、國家の建設には先づ戰爭を熄めることである、余は常に救國和平の志を固持して來た、五ケ月來の時局變化は忍ぶべからず、然し余は飽く迄平和解決の志ざし武力を用ゐず唯だ故孫文の天下を公になすの遺訓の實行を期した

民政黨議員總會順序
けふ午後開會

【東京二十二日發電】第五十七議會に臨む民政黨の議員總會は今二十二日午後一時から本部に開會濱口首相以下黨出身閣僚、政務官並びに所屬兩院議員一同參集して陣容を固むる事となつたが、順序は左の如くである

一、廣瀨會長の挨拶
一、新會長、副會長選擧
一、各派交渉會報告
一、議事
（イ）院内役員選擧
（ロ）議長、全院委員長、常任委員長、常任委員候補者選定の件
一、濱口總裁の演說
一、議員懇親會

西北軍に大打撃
閻氏の通電に出鼻を挫かる

【北平特電二十二日發】閻錫山、張學良氏等の通電は西北軍の行動に一大打擊を與へた、西北軍の鹿鍾麟、馬鴻逵父子は既に閻錫山氏の通電中に名を列し徐州に在り韓復榘、石友三兩氏の態度は尙不明だが韓軍は歸德、開封、鄭州の間に在り、青島に在る馮祥氏は陳調元氏と協議の結果部下軍隊統率の爲め二十二日蚌埠、開封に向ふ事となつた、西北軍は此の際忍自重の外ながるべく對山西態度は一時靜止すると觀られてゐる

張學良は山省の威軍にて露西亞に抵抗し財力蕩盡するも其の志を固持してゐる、我等は一致協力外國に對せざるべからず改組派は時局紛糾の時期に乘じ策動せんとしてゐるが、中央の統一を擁護し各將領に危險なる時局の挽を望み國家の基礎を鞏固ならしめんことを回期す

鮮米移入の調節案は未裁決
米穀調査特別委員會

【東京廿二日發電】米穀調査會特別委員會は前日に引續き二十一日午前十時より首相官邸に開かれ

一、米價基準設定案
二、鮮米移入調節案
三、農業倉庫獎勵と低利資金融通案

を議題として審議の結果米價基準設定案に就ては米價の基準を設定することは緊要なるものと認む因つて政府は速かに米穀法の發動に必要なる米價の最高、最低の基準を制定設置すべしと決議を爲し鮮米移入調節案に就ては朝鮮總督府當局より移出米を調節する爲め政府補助の下に米穀集散地に倉庫を建設せしめ之に低利資金を融通する旨の說明ありたるに依り之に對して討議したが、裁決に至らず留保し農業倉庫獎勵と低利資金融通案に就ては農業倉庫を獎勵し之に低利資金を供給することゝの決議を爲し午後五時散會した

年内に之にて一先づ委員會を閉ち明年一月以後にて審議を續行し休會明け迄には答申案全部を決定し政府は之に基き米穀法改正案を議會に提出する方針である

社會政策答申案
廿一日の總會で可決

【東京廿二日發電】濱口内閣三大政策審議會中の社會政策審議會最後の總會は二十一日午後二時より首相官邸に開會左の答申案を可決した

▲諮問第一號に對する答申案

一、政府は尠くも年一回全國的要地々々に關し失業統計調査を行ふと共に國勢調査施行の都度全國に亙り簡單なる失業調査を行ふこと

二、職業紹介機關の整備充實を期すること

三、物價金融の調節統制を圖る等産業界を安定せしむるの方策を講じて失業の發生を防止すると共に進んで産業の發達擴張を期し、貿易の振興を圖り以て職業供給料を一層豐富ならしむるに努むること

四、地方的工業の發達農村に於ける副業の獎勵其の他農村の振興を圖る等農村生活の改善を圖るの外人口の都市集中を防止すると共に内外移住の圓滿なる發達を期すること

舊哈大洋票交換申請
總商會から

【ハルビン特電二十一日發】哈爾賓大洋票舊紙幣の流通は廿日で新紙幣との交換期は終つた[illegible]行政長官は以後一切舊紙幣は無効であると布告したが、支那側商會はこれでは損害も非常に莫大に上り且つ紙幣流通に對する一般民衆の信用缺乏にも累を來すから今後の總商會の保證にて一定の期間内交換に應じられるやう長官公署に申請した多分今後三ケ月間は延期されるであらうと

關東廳定期進級昇給
廿六日發表

關東廳の定期進級昇給は廿六日發令の筈であるが、秘書課では廿日午後一時から日下秘書課長室に於て長官査定後の書類整理を行つた

期成同盟委員會

昭和製鋼所設置期成同盟會委員會は二十三日午後二時より市役所にて開き、期成運動の經過を報告し上京委員五名選定寄附金の募集方法等を議する筈である

西山財務部長

五年度豫算折衝の爲め豫て東上中の西山關東廳財務部長は年内歸任の筈であつたが、都合に依り東京にて正月を迎へ來月三日神戶出帆のうらる丸で歸任することになつた

天氣豫報

廿三日 南西の風 晴一時曇

各地の濕度

地名	昨日最低		十一時	
大連	零下一三、八	零下	四	[illegible]
旅順	同 一二、三	同	二	[illegible]
營口	同 二〇、七	同	八	[illegible]
奉天	同 二二、二	同	一	[illegible]
長春	同 二六、三	同	二	[illegible]

日曜閑話　十三ケ月制の暦

現在の暦はこの儘で不便不都合のないものであらうか。よく考へて見ると第一に困るのは一ケ月の日數の大小不同な事である。二十八日の月もあれば二十九日、三十日、三十一日の月もある。統計表を作つて月々の數字を比較する場合に、二十八日の月と三十一日の月とならべたのでは正しい比率が出て來ない。

それから今一つ厄介なのは一ケ月の日數が七で割りきれない事である。一ケ月は四週間とあと幾日といふ端數が出る。元來月と週とは二つの異つた暦制であるから、この二つはきつちりと合はない。この喰違ひが幾多のうるさい結果を生む。一週一回といふと何曜日にきめて置いても月によつて四回になつたり五回になつたりする。アメリカの百貨店の調べによると土曜日は他の日よりも二、三割方餘計に賣れる。その土曜日が四度あるのと五度あるのとではその月の賣上高が大に違ふ。今月は成績が良かつたと思つてゐると、實は土曜日が五回あつたからだといふやうな錯覺を生ずる。

◇

ではどうしたらよいか。色々の改良案があるが實業家の多數が共鳴してゐるのは次の如く改める案である。即ち一ケ年を十三ケ月と爲し、一ケ月を二十八日とするといふのである。

右の如くすると月に大小の別なく、一ケ月はどんな月でも二十八日となり、きつちり四週間となり又別表の如く一日はどの月でも日曜日となり二十日は土曜日となる。暦を繰つて「來月の一日は何曜日か」だの「來月の第一月曜日は何日か」だのと尋ねる世話はなくなる。

◇

筆者がこの事を或るサラリーマンに話したところが、彼は飛びあがつて喜んだ。月給が年十三回貰へるからだといふのである。けれども落付いて考へて見ると家賃も亦十三回支拂はねばならぬ。又或る商賣人に話したら、彼曰く「かけが年に十三回よる譯であるからつまり資本の廻轉回數が一回增加します。さうすれば商賣人には誠に好都合です」と言つた。此の方が少し頭が好いやうである。

唯一年を十三ケ月とすると上半期、下半期と分ける時に工合が惡い。十三といふ數字は二でも三でも四でも六でも割れない奇數である。

それから一年の終りに一日あまつて來る。此の日は「平和デー」とか何とか適當な名をつけて休日にする。閏年には七月の終りに今一つ何々デーといふ休日をつける——といふのが此の案の大要である。發案者はカナダのコッツワース氏である。

海關の沒收拳銃を奉天政府に引渡す
六百八十五挺と六萬七千發　本年六月以後の分

大連海關に於て去る昭和四年六月一日より今日迄に沒收した拳銃彈丸類は兩三日中に奉天政府に引渡す筈であるが、沒收拳銃の種類はアストラ六十三挺、モーゼル三百四十四挺、ＰＢ四挺、ローヤル二百六十四挺、コルト二挺、リバーチ一挺、ベルローク七挺合計六百八十五挺、彈丸は大彈三萬四千四百九十發、小彈三萬二千九百發合計六萬七千三百九十發、彈倉三百廿八、彈夾三百九十木匣三百四で沒收の場所は大連驛、吾妻驛、埠頭檢査所等で主として攜帶中のものを發見した場合が多く、夫れには漬物中より發見したり醬油樽の中から發見したり梅干樽、模造紙包中より發見したものがあると

郵便集配の勞苦を御慰勞
畏くも秩父宮殿下が赤坂局員に御下賜金

【東京廿二日發電】秩父宮殿下には此の程御殿の郵便物集配に直接關係ある赤坂郵便局員の勞苦を思召されこれを御慰勞遊ばさるゝ有り難き思召より荒谷赤坂郵便局長を御殿に召させられ畏くも同局員一同に歳末御祝儀として金一封を賜つた斯る事は全く空前の光榮で荒谷局長は感謝し直ちにこの旨を二百八十一名の從業員一同に傳へたが、拜受した金は此の光榮を永く記念すべき品を購入して分配する由である

注目さるゝ越鐵疑獄の成行
當時の鐵相や次官にも響應　政治季節を前に進展

【東京二十二日發電】越後鐵道事件は大體終了の如く見られてゐたが佐竹元鐵道次官の收監から二十一日午後に至り突如事件は進展の模樣となり檢事局の命に依り警視廳刑事部大澤刑事は築地料亭新喜樂を襲ひ帳簿の押收を行ひ引揚げた、之に依つて事件は意外の人物多數が連坐せる事が暴露されたので其の人物は何れも近日中に檢事局より書面審理を行はるゝことゝなつた

右は前記の新喜樂より押收せる帳簿に依るものであるが夫れによると大正十五年十一月十五日（議會上程前）越後鐵道社長久須美東馬氏が新喜樂に招待して越後鐵道買收運動の爲め饗應した人物は

當時の鐵相井上、降旗、佐竹兩次官、青木、村上、寛、八田兩局長等で何れも一人前八十圓の饗應を受けた事實あり更に昭和二年四月八日同料亭にて大津、岡本、小西、山本、櫻井、建部、山田、平井、中野正剛、中原、川崎、井本の諸氏等が同樣饗應を受けた事實が判明したが尚ほ別席に於て久須美氏は某々幹部二名と

數千圓の金錢授受を行つた事實も判明してゐるので同事件は政治氣節を前に更に紛糾するものとして注目されてゐる

海上の時化で定期船難航
何れも入港が遲れる

海上が近來にない大荒を續けてゐるために大連に向ふ船舶は悉く非常な難航をつゞけてゐる、先づ內地定期船ばいかる丸は入港豫定を數時間遲れて午後三時港外着、上海航路の[illegible]丸は二十二日深更に入港して廿三日朝乘客が上陸する筈であり、廿二日早朝入港の筈の濟通丸が正午すぎに入港する等あらゆる入港船は可なりに遲れる見込みである

打虎山の逃亡騎兵が煙台附近に出沒
一時は附屬地も危險に瀕し　遼陽署から急行す

【奉天特電二十二日發】奉天管內打虎山の騎兵隊から逃亡した約一百名の騎兵は漸次南下し十九日公安隊と衝突激戰を交へ、双方共に相當の損害を受けたる結果、賊軍は四散しその一部隊四十餘名が二十日遼陽縣大煙臺の東方胡闘寺に現はれ村民を脅迫して食事をなし、防寒具と乘馬の用意を命じ同地出發二十一日午後二時頃煙臺炭坑西方に到着するや遼陽公安隊と衝突交戰數時に及び賊團に多大の損害を與ふると共に煙臺公安分局長外三名負傷炭礦病院に緊急手當を申出で銃聲砲聲轟まず炭坑及び附屬地の危險刻々に迫りつゝありと同地駐在巡査よりの報告に接した遼陽警察署では長山署長總指揮の下に午後七時の列車で泉警部補以下同地に急行せしめ炭坑及び附屬地の警戒に努めた結果賊團は途中に於て拉した人質十名を引連れ炭坑を迂回して漸次南行せるものゝ如く目下炭坑附近は平靜である

好晴に賑ふ浪速町の歳の市

久振りで暖くなり
暮れの商店街大賑ひ　氣溫はまだ昇る

滿洲特有の三寒四溫も今年は師走に入つた例年稀な例外記錄を示し毎日零下八、九度より十一、二度までの寒い日が續き雪に埋れた市街は硝子張りの如く凍結して一入交通事故を頻發せしめ、寒さの爲めに風邪に罹る人も多かつたが、けふの日曜は久方ぶりの快晴で氣溫も急に昇騰したので、寒冷に閉ぢこめられた家庭の人々も迎春仕度の買物かたぐの外出に市中商店街は漸く歳末氣分の賑はひを呈した、大連測候所では昨今の天候について語る

二週間に亘り古方面に頑張つてゐた高氣壓の影響で北風が吹き續き近年にない寒さが續いてゐたところ、右の高氣壓が漸く南東に向つて移動し初めた結果大陸氣壓降下し南西寄りの風に變ると共に遼東半島の風速が落ち、けふ午前十一時に於ける溫度は旅順零下二・〇、大連同四・三、營口同八・五、奉天同一二・〇、長春同一七・二度と五度乃至七、八度高を示してゐるが風が西南に變るにつれ午後より明日にかけ溫度は更に昇騰し暖かさが加はる見込みである

ブルガリアの大吹雪
凍死者續出す

【ソフィア二十一日發電】ブルガリアの大吹雪は依然猛威を振ひ各所に慘害を與へて居り凍死者續出し電信電話線切斷個所多く各地では軍隊を繰出して修理に努めてゐる鐵道被害も甚大でソフィア、ヴアルナ線では六列車が雪中に埋沒してゐる

道路凍結で三重衝突
自動車と馬車

廿一日午後三時半ごろ市內惠比須町一九五ヤマトタクシー運轉手荒木八郎(二三)が乘客を乘せて日新街方面より伏見町に向け進行中同一九五番地先十字路に差しかゝつた際沙河口より歸途にあつた市內奧町六四運轉手王運泉(二七)が操縱する一五三號自動車が疾走し來り兩者が相避けんとして急停車せるも路上が氷結せるため滑つて遂に側面衝突し更にその反動で傍らを進行中であつた沙河口白雲山馬車敗容所三區二號黃德清(二七)の馬車に衝突し黃及馬の首に約一週間を要する負傷せしめ荒木は二十圓、王運泉は約百五十圓の何れも損害を蒙つたが運轉手兩名が馬車夫の損害を折半し支拂ふことゝし示談解決した

消費組合の正月餅搗き

滿鐵消費組合では昨今西公園町舊瓦二階で正月用の餅を機械で搗き出してゐるが、値段は內地米のし餅、圓餅とも一升四十八錢で目下の注文量は二百石の注文だと

三越の店員が商品を入質
半歲に亘り店頭から二千圓の品を持出す

大連署に於ては數日前より各刑事を派して市內浪速町一〇五筑後屋質店、磐城町八九博多屋質店外各質店より續々眞新しい洋服、衣類等數十點を押收し來り刑事室に山の如く積み上げて三人の男を嚴重取調べてゐるが三名は本籍長崎市本大工町五四當時市內松林町三五大山通三越吳服店員藤崎繁雄(二三)、本籍新潟縣中頸城郡直江津市內奧町二八元齒科技工師小林喜三郎(三九)、本籍岡山縣阿哲郡常生村小林方元齒科技工師赤木[illegible]三郎(三二)と稱し去る十二日赤木が前記博多屋質店に獺毛皮を二十五圓にて中村條吉の名義にて入質せんとするを擧動不審の廉に依り大連署刑事が取調べたるところ該品は藤崎より委託され入質したと白狀したので更に十六日午後八時自宅に立歸つた藤崎を逮捕嚴重取調べたるところ圖らずも藤崎は三越店員なるを奇貨とし本年六月一日店頭にあるレーンコート價格三十六圓を賣却品の如く裝つて持出し前記小林に委託し入質せるに味を覺え爾來約半歲に亘り洋服、吳服等商品を持出し前記兩名に一回二圓或は三圓の手數料にて委託し入質しては遊興に費消せる事自白した、其被害價格は目下判明せるだけでも二千圓に上り莫大な贓品を押收された某質店の如きは其爲に破產に瀕してゐるといひ小林は十七日自宅に於いて逮捕された、尙ほ赤木は昨年六月[illegible]齒科醫師法違反の廉に[illegible]處せられた事のある前科者であると

次の長篇小說
元旦號より連載

目下本紙に連載中の小說「愛慾の窓」は好評の裡に近く終結を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく**現代文壇の寵兒三上於菟吉氏**に交渉しました處**長篇小說『戀と地獄』**の執筆の快諾を得**挿畫は肖像畫家中の新進鶴田五郎畫伯**の熟管に依つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小說　**戀と地獄**　作者　三上於菟吉　挿畫　鶴田五郎畫伯

作者の言葉

僕の曝露文學はこの「戀と地獄」で自分としては尖端を示したものと言へると思ふ。僕はこの一局に現代東京が含む一切の興しき美と力との渦卷、それに捲き込まれて押し揉まれる小さき滴き幾つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決心だ。僕は讀者の後援が、あくまで素志を貫徹せしめられんことを望む。

龍口出帆の利生丸安否
荒天で難航か

去る十八日龍口を出帆した宇多商會所有利生丸（九百十三噸船長大西與三郎氏）は大連に向つたものであるが爾來四日を經過するも何等消息なく或は連日の荒天の爲難航を續けてゐるのではないかと云はれてゐるが、廿二日入港した濟通丸の語るところによるとそれらしい船の姿を附近に見なかつたと一方船會社では二十二日午後に至つても消息なきときは無電局に依賴して搜査する方針である

尙同船は燃料の積載が少量であるから或は燃料が不足して動けなくなつたのではないかと氣遣はれてゐる

調停無視で再び紛糾
姫高の盟休

【姫路二十二日發電】姫路高等學校のストライキは一名の犧牲者を出さぬ條件で解決したが、二十一日突如ストライキ參加學生に對し二週間、首謀者三名に六週間、同四名に四週間の停學處分を發表したので學生側は大いに憤慨し調停者の調停を無視せる學校當局の態度を責め抗議すべく協議中だが再び休校するに非ずやと見らる

靜高盟休解決

【靜岡二十二日發電】去る十七日より盟休を斷行し寄宿舍に立て籠り學校當局と對峙中であつた靜岡高等學校生徒六百名の盟休事件は一、生徒から學校に陳謝する事　一、學校は犧牲者を出さぬ事の調停案で妥協成立し本日より全生徒は試驗を受くる事となつた

吉野町小火

二十二日午後零時二十五分吉野町十二洋服商孫声漢方のオンドルの煙筒不完全の爲め出火衣服蒲團等を燒いたが大事に至らず同三十分鎭火、損害約百圓

コドモページ

冬の理科
今ごろは……虫さん達 どこにどうしてゐるのだろ
昆虫の冬籠り生活

花から花　へヒラ／＼ととび廻るあの美しい蝶々、綠の繁みの間から、夏の來るのを知らせてくれるミンミンの蟬君、秋の夜をい／＼聲で鳴き通す音樂家のキリギリスや、コホロギ君、春から秋へお天氣さへよければせつせと働きつゞける勤勉家の蟻君たちは、此の頃の寒空に、どこに、どうして暮してゐるのでせう。虫君とは、あれほど、仲よしだつた皆さんも、この頃は、スケートのことや、クリスマスのことや

お正月の　ことばつかりを考へ、虫達のことなどは夢にも考へては居ないでせう。しかし、虫達はやがて來るべき春に、夏に、秋に、皆さんと遊ぶ日を夢見ながら、どこかにジッと寒さをこらへながら、冬の去るのを根氣よく待つてゐるのです。そこで、皆さんから、忘れられてゐる虫君達が、冬の間、どこで、どんなにしてゐるかをお話してあげませう。先づ

皆さんと　一番仲よしのキリギリス君は、どうしてゐるかといふと、冷たい土の中に卵の姿でじつと世に出る日を待つて居るのです。その卵は、今年の秋、皆さんのお相手をつとめたキリギリスが、來年の皆さんのお相手に產んで置いたものなのです。そして、一年の役目を果した今年のキリギリスは、自分の生命を卵にゆづつて、今は土になつてゐます。それから、元氣な子供の第一等のお相手のトンボ君は、今どうしてゐるかといふと、

同じやう　に、キリギリス君と自分の生命を子供にゆづり、その子供は、今池の中にサソリの兄弟分のやうな變な格好の虫となつて水の底にかくれてゐます。それから、皆さんの目を一番喜ばせてくれるあの美しいアゲハノテフや、かあいゝモンシロテフなどは、これも生命を次の子孫にゆづつて、その子供達は蝶とはまるきり形のちがつたサナギとなつて、寒さをしのぐのに都合のよいところにかくれてゐます。そこへゆくと蟻や蜜蜂はキリギリスや蝶などとはちがつて

働ける間　にせつせと食物を貯へて置いたおかげで、冬になつても卵や蛹に生命をゆづる必要もなく成蟲のまゝで穴の中や箱の中に貯へた食物を少しづゝ食べながら暖かい春の日の來るのを氣永に待つてゐるのです。

將に氷結せんとする ナイヤガラ瀑布

世界一と言はれてゐるナイヤガラの大瀑布、一番高いところが百六十二フイト、一番巾廣く、水の落ちるところが、二百六十フイト、落下する水の力が四百萬馬力もあると言はれるナイヤガラ瀑布も、冬の威力にはかなわないと見えて、冬になると、すつかり水が凍り、萬雷のやうな水の音も、ハタと止つてしまひます。寫眞は凍りかけたナイヤガラ瀑布の壯觀です。

ニドメノ 大チヤンノタンケン (166)

ハルミチ作　ジラウ畫

チカラ イツパイ ナゲツケタ バクダン ハ、マモノ ノ アシモト ヲ、コロコロ ト コロゲテ、ウミ ノ ナカヘ ドブーン、マモノ ハ イカリクルツテ 大チヤン ニ トビカカツテ キマシタ。

「ツカマヘラレテ タマルモノカ」大チヤン ハ マモノ ノ マタ ノ シタ ヲ クグツテ スバヤク ウシロ ニ ニゲ「サアコイ」ト ピストル ヲ カマヘマシタ。

大チヤン ハ ツカミカカツテ クル クワイブツ ノ オホキナ メダマ ヲ メガケテ 一パツ「ズドン」。タマハ ヒダリ ノ メ ニ ウマク アタツテ クワイブツ ハ カタメニ ナツテ シマヒマシタ。

上り目下り目

中溝新一　(三)

(七歲の女の子に)

ほら、昨年の夏も夏家河子へ行つたでせう。そして海にはいつておさかなをすくつたり、泳いだりしたことがあるでせう。面白かつたね。滿洲子さんも七歲の尋常一年生さ。だからお水がづゝとひいた砂の上で蟹の赤ちやんをとつてると、ぽきりと右のはさみがとれちやつたの

「おかあさま、大變よ、この蟹の右のはさみが、自然にとれたのよ。あたしどうしやうかしら」と、泣きそうな顏をしていひました。

「そりやいけない。蟹さんのはさみがとれちや、これから手工もおさいほうも出來なくなるだらう。かわいそうに」

とおかあさまはおつしやいました

それには滿洲子も、すつかり困ちまいましたが、急にうれしさうに目をまあるくしました。

「お母さま、蟹さんは右のはさみがなくなつても左のはさみがあるわよ。一つあれば手工でも裁縫でも出來るでせう」

といひましたが、なんだか、かわいさうになつて、海の中へぽーんと放してやりました。

不意に海に踊つた蟹さん、大喜びではあつたが、氣がつくと、右の手がなくなつて居るので、痛くつてしかたがない。「アーン、アーン」とないたか「チューチュー」とないたか「プープー」とないたか、蟹さんのなきごゑを知つて居るかね。なに、知らない！學校の讀み方のさるとかにの中に、さるが蟹に柿の實をぶつけたが、あの時も隨分痛いからなんと言つて泣いたらう、今度、星ヶ浦へ行つたとき蟹さんにきいてみやうね。

蟹さんのお母さんも穴の中でこどものなき聲がするので大急ぎで匍ひ出しました。穴の入口で小蟹が泣いて居る。

「おや、どうしたの、右のはさみがとれてるね。そりや痛からう、さ、早くおうちへおはいり」と、抱くやうにして中へ入れました。

しかし小蟹がいくら痛がつてもどうすることも出來ません。おぢさんも來ました。おばさんも來ました。近所の大蟹小蟹がたくさん集つてどうしやうかと相談しましたが、ちよこちよこ大きな貝の中から一番もの知りのやどかりのおぢいさんが匍ひ出して云ひました

「右のはさみがとれちや、この子も大きくなつて困る。これは一つ龍宮城へ行つて乙姫さまのお醫者さんに頼まなくちや、きけば醫者の章魚さんは大層お上手だそうだ」

それからいかさんに頼んで、小蟹ははるばると龍宮城へ行くことになりました。

新刊兒童讀物批評

…大連讀物研究會…

菅原道眞公

守屋貫秀・新井庄太郎兩氏共著

學問の神、冤罪の神として崇敬されてゐる菅原道眞公の一代記を兒童向きに編んだものである。童話風に面白く書かれてゐる。少年少女の讀物として適當なもの。尋常五、六年程度定價の二圓は少し高いやうだ、大同館書店

兒童の作品

病氣

嶺前小學校三年　栗木元一郎

何んだか風をひいた樣だ。「お母さんふとんをしいて」僕はさう言つた。すると、となりのへやで、お母さんが「どこか惡いの」とおつしやつた そして頭を、さわつて「すこしねつがある樣だ」とおつしやつて、ふとんをしいて下さつた。

それから、僕は何もしらないでゆめうつゝで夕方になつた。

午後の五時半、お父さんが、會社から、かへつてゐらつしやつた。

そして、僕のねてゐるのを見て「お正月のおもちがたべられないぞ」と言はれた。僕も一生けん命なほす氣になつた。

それから、一週間たつて、元氣に學校へいける樣になつた。

新刊教育書紹介

▲學校經營(十二月特輯)「成城小學校の教育號」である。大正六年我國教育の革新を叫んで創立された同校は教育の理想境を描きながら嶮しい進路を續けてゐる、本編は成城校の詳細なる紹介である(定價五十錢東京市麹町區四番町第一出版協會)

▲教育論叢(十二月號) 教育大轉換の基調兒童生活の道德的特殊性について、國語教育の一家言その他講話、研究、隨筆等五十錢(東京市牛込區赤城元町文教書院)

歐米 ところどころ……(十一)

コロセオの 廢墟に立ちて

阿左見福馬

猛獸と人間とを鬪はせて、面白がつて見物したと云ふ演技場。ローマ大帝國の壯觀と、暴帝ネロの無道さが偲ばれる。美しいモザイクや、彫刻は剝ぎ取られて、只巨大な殘骸がカスガイや、コンクリートの力で保たれてゐる。捨見か、乞食か、或は案內か、きたない姿で子供がつきまとふ。ロンドンの乞食の樣に、手風琴でもやるといふ味がない。流石のムツソリニーの睨みも彼等には利かないと見える。左に立つてゐるのが記者です。

平安異香（207）

葉多默太郎作　中一彌畫

奔流（五）

女――お秀に違ひないその女は、もとの大路へは出ないで、反對の東へ向つて歩き出した。

幸はもとよりついて行つた。

小牛丁離れて、よそながらついて來いといつたので、お秀を行過させようと、わざと小歩になつてついて行つた。

が、四五歩行つたばかりで、早くも幸はお秀の様子に不審を抱いた。

小牛丁離れるためには、さつさと行つてくれる筈のお秀が、一向捗取らない歩でゐる。

どうしたのであらうと思つてゐると、四五歩、ばた／＼と早歩になつて、また立止つたのかと思はれるばかりの小歩になつた。

それが、何か此方を待つてゐるやうな様子にも受取れるので、追つて行つて、背中から、

「小牛丁離れてござゐますな」

といつてみた。

「いけません。今日は駄目です。さうですね……」

背を向けて歩きながらである、お秀はさういつて少時ものを考へて居るやうだつた。そして、

「明日の晝午の刻に五條大橋の西の詰で待つて下さい。春光様にさういひますから。よいですね、午の刻、五條橋の西の詰」

といつて、遽に歩を早め、女とは思はれないやうな早さで行つてしまつた。

をかしい、どうしたのであらう？――

見送つてゐると、お秀は被衣の裾をひらりと飜へし、燕のやうな軽さで、西の辻を右へまがつた。

幸は、もとの大路へ引返すつもりで踵を返した。

その時、風のやうに、或は影のやうに面前を過つたものがあつた。一人の百姓風體の男だつた。

怪しげな腰つきをして、ちらと幸を振返り、そのまゝ東へ走つて行つた。

不安のものを感じながら見送つてゐると、東の辻でたゝらを踏み町角の築地にへばりついてお秀の行つた方角を覗き、周章てたやうに跳びあがつてまがつてしまつた。

あゝ、さうだ――

春光の隠れ家へ連れて行くといつたお秀が、俄に豫定を變へて別れてしまつたのは、あの男のためであつたのだらうと、幸に始めて判つた。

油斷が出來ない、恐ろしい――

自分の身邊にも遽に不安が感じられて、あたりに注意の眼を配りながら、幸は急ぎ歩に大路へ出た路の人ごみの中へ混りこんでしまつた。

さて、怪しげな百姓風體の男といふのは、月夜鴉の黒住源八郎の下ッ葉のからつけつの勘兵衛だつた。

勘兵衛はヒーヒー息を切らしてゐる。

一句にわたる連日連夜の奔命にすつかり痩を憔落した、見るも無殘な勘兵衛である。

大盗冷泉夢之助が、さる不敵な大望を抱いて、大悪山臥龍城の一味徒黨オールスターキャストでもつて、洛中に潛伏した――といふ内報を得て以來、捕吏黒住源八郎は死物狂ひである。源八郎の股肱をもつて自任してゐるからつけつが、いやからつけつの勘兵衛たるものが、持ちあはせた命を投げだして、これを最後の御奉公と、骨身を枯らさないではゐられない。

はじめ、源八郎の命令で、幸を跟けて來たのであつたが、目前にお秀といふ大物が現はれたので、そこが機轉といふ奴、馬鹿正直ぢや捕吏は勤まらないといふわけで急に方角を變へてお秀に附いた勘兵衛である。

小牛丁先を、女房風のお秀が歩いてゐる――

富秋補

定評のあるものである、尚ほ一行は卅一日着のばいかる丸で來連すると

帝國館で「誰が一番お好きですか？」と俳優の人氣投票をしてゐるが▲男優では矢張り阪妻が第一位で次位が長二郎であるが、これは必ず若い女性がさん附で投票して來る▲また女優では若水絹子と田中絹代がいゝ勝負で絹の字の當り年だとある▲秋村氏が去つて倉田初美君が編纂してゐる「滿洲ベビーキネマ」の正月號は久振りで大いに内容充實したものをつくる▲それから圖案を懸募中であつたベビークラブの徽章はMBCと頭文字を入れて近く出來上り新春を期して大いに活躍する▲一昨朝浪速館のスチームボイラーが破裂して大騒ぎを演じたと▲正月興行に寛壽郎の「荒木又衛門」が上映されるらしいとの噂

映畫と演藝

大連劇場に酒井雲　初春興行決る

大連興行界の初春興行は各方面とも漸く陣容整ひ着々と準備を進めつゝあるが、歌舞伎座の喜劇に對して大連劇場は豫て噂された如く好評を博した文藝浪曲の創始者酒井雲一行を招聘し元旦より蓋をあけることに決定した、一行は酒井雲を始め雲王九、中川鯉昇、橘右近、酒井金時等の座長格の人氣者揃ひで非常に期待されてゐる

酒井雲は言ふまでもなく早大出身の新人で文藝と浪曲の融合を圖り文藝浪曲を新作して常に好評を博し戀の坂崎出羽守、浄瑠璃坂の仇討、恩讐の彼方、本能寺、噫無情等が十八番物として

買物ニュース

▲連町及大山通り商店街は各商店とも一齊に大歳の市大賣出し中で例年にない緊張味を帶びて居る

▲新裝した電園下の連鎖商店街はこの十日から假開業をしたが歳末の特價大賣出しは豫想外の人氣を呼んで居る

満洲日報

けふの召集を前にして 政民兩黨の議員總會

民政黨

黨出身閣僚初め 所屬議員二百餘名出席 議長候補に藤澤氏を指名し 濱口總裁激勵演說

【東京二十二日發電】民政黨は二十二日午後一時から本部に議員總會を開き、濱口總裁以下各黨出身閣僚、政務官以下所屬議員二百餘名出席、劈頭富田幹事長の挨拶ありて各派交渉會の經過報告あり議事に入り別項院內總務の指名あり院內幹事、全院委員長、常任委員長候補の人選は院內總務に一任のうへ議長候補に藤澤幾之輔氏を指名したるのち濱口總裁は激勵演說をなして政府の決意を披瀝、終つて兩陛下の萬歲を三唱し同三時散會、引續き東京會館に於て議員懇親會を開いた

濱口總裁演說要旨

議會は愈々明日を以て開會されるが、この議會の進行に伴ひ互に團結心を以て統制を保ち結束を固めるを肝要とする、近年疑獄事件頻發せるは頗る遺憾に堪へぬが、これに關し又は關連なしに種々流言蜚語が全國に流布され之に依つて政界に動搖を起し財界に或種の混亂を來せんとする如きは卑劣千萬である、斯る兒戲に類する小策を以てしても政界財界は微動だにするものに非ず、依つて如何なる流言蜚語が有るとも同志は寸毫も疑をさしはさまず相信じ相許し同志一體となつて泰然として世の小策に鬪はねばならぬ

院內總務決定

【東京二十二日發電】民政黨は二十二日議員總會の結果左の如く院內總務及び其の事務分擔を決定した

院內總務議事係 賴母木桂吉 小山松壽 中村啓次郎 櫻井兵五郎 廣瀨德藏

委員係 中村啓次郎 小池仁郎 木檜三四郎 小山松壽

交渉係 賴母木桂吉 一宮房次郎 田中萬逸 原夫次郎

全院、常任委員長候補顏觸れ

【東京二十二日發電】民政黨の全院、常任各委員長候補は左の如く決定した

全院委員長 西村丹次郎
豫算委員長 森田茂
懲罰委員長 野田文一郎
決算委員長 清水留三郎
請願委員長 淺川浩

整へた政友の對議會陣容 現在焦眉の急務は不景氣と失業對策

【東京二十二日發電】政友會の議員總會は二十二日午後二時より本部に開會、犬養總裁以下所屬貴衆兩院議員三百餘名出席、森幹事長の挨拶、黨務の報告等ありて犬養總裁は

現在焦眉の急務は不景氣と失業の對策である、金解禁問題に於て政府と我黨の主張は相違したるも經濟的問題としては成るべく國民に及ぼす影響を尠くする事に努めねばならぬ

と演說し議會對策を語り、引續き代議士會に移り院內總務、幹事を指名し議長、全院委員長、常任委員長候補を決定して對議會陣容を整へ陛下の萬歲を三唱して三時二十分散會、午後五時より三緣亭に議員懇親會を開いた

院內總務

【東京廿二日發電】政友會院內總務は左の如く決定した

秦豐助、鈴木隆、東武、植原悅二郎、三輪市太郎、砂田重政、兒玉右二、津崎尙武

議場の形勢如何で年內にも解散斷行 森田政義氏失格問題に絡んで政友は攻擊的質問か

【東京特電二十二日發】第五十七議會は愈々二十三日をもつて召集され、兩院とも午前十時開會、衆議院は直ちに議長選擧を行ふ順序となつてゐる、今議會は民政黨最初の試練であり、劈頭の議長選擧は政友會候補堀切善兵衞氏の當選を見るべく、全院委員長、豫算、懲罰、請願、決算、各常任委員長も盡く野黨の手に歸すべく、斯くて年內の議會政戰に於て政府並に其の與黨は完全に敗るゝの情勢にあり、この勢ひに乘じ野黨政友會は森田政義氏の失格問題にからんで選擧法の疑義に關する痛烈な攻擊的質問を試み、進んで資格審查委員會設置を要求せんとの氣勢あり、開會劈頭空氣の惡化を呈せんとする兆が仄の見える、一方政府は既に解散斷行の肚を決し議場の形勢如何によりては年內解散も辭せざる決意を見せてをり、こゝ二、三日間の形勢は最も注目されてゐる

森田政義氏の登院飽く迄反對 民政黨の對策決定す

【東京二十二日發電】二十二日の民政黨議員總會は政友會が過般大審院の判決で失格と決定した森田政義氏を登院せしめ資格審查委員會を要求すべしといふにつき對策を協議したが、資格を缺ぐものが登院せんとせば議長が之を阻止すべきもので、民政黨の關知する處ではないが若しこれに端を發し開院式後議事開始の場合資格審查委員會を要求する如き事あらば民政黨は飽くまでこれに反對して爭ふ事に決定した

一木宮相 園公訪問

【興津廿二日發電】一木宮相は二十二日正午西園寺公を訪問し、兩陛下の御近狀、高松宮殿下の御事、宮中豫算等を報告し午後一時辭去した

勞働組合法案に 工業俱樂部より陳情

【東京二十二日發電】日本工業俱樂部の團、鄉、中島、內藤、木村、藤原の六氏は二十一日午後首相官邸に濱口首相を訪ひ政府が來議會に提出する豫定の勞働組合法案に就き右は階級鬪爭を激成する惧れあるを以て之を調和する爲め本工業俱樂部の有する意見を說明し社會局案の改正を希望する旨力說し詳細說明陳情する處あつたが、右に對し濱口首相は本法の實施に依り階級鬪爭を激成するとは思はぬ之に依つて勞資協調の實を擧ぐる

佛國より英國へ覺書を送る 國際海軍問題に關して

【パリ廿一日發電】ロンドン會議開期切迫と共に各國の異常の注視を受けつゝある佛政府は、本日英國政府に對し大要左の如き覺書を發送し國際海軍問題に關する佛國の立場を說明した

一、海軍々縮問題は國際聯盟に於て解決せらるべき全般的軍縮の單なる一部分を構成するものたるに過ぎぬ
二、全般的軍縮は陸海空軍の縮小であつて右三軍は總括的に考慮研究することを要す
三、海軍會議に際しての佛の海軍噸數要求は佛國自身の必要を充す事を基礎とすべきである
四、世界の海軍問題は各國が夫れ〴〵不可缺と爲す處の安全保障の見地から考究すべき者である

ドイツ國會 減債金積立決る

【ベルリン廿二日發電】ドイツ國會は減債金四億五千萬マルク積立を決定した

獨財政長官辭職

【ベルリン廿一日發電】ドイツ財政長官ヒルファーデング氏は最近の財政難の責を負ひ辭任した旨公表された

國境警備嚴重

【ハルビン特電二十二日發】露支交渉中なるにも拘らず國境の警備は一層從前より嚴重にせよとの軍令を張作相氏から電命した

誘ひ出されて居正氏捕ふ 淞滬警備司令部の手で

【上海特電二十二日發】曩に國民政府より逮捕令を發せられた居正氏は、本日早朝淞滬警備司令の手で逮捕された、居氏は反南京政府運動に關係してゐた爲め淞滬警備司令熊式輝氏が李烈鈞氏を擁立の態度を表明すると稱し、居氏の署名を求むるべく詐稱して昨夜深更居氏を租界外に連れ出し警備司令部に引入れて逮捕したもので居氏の生命危ぶまれてゐる

潼關で軍事會議 鹿鐘麟、宋哲元氏ら

【北平廿二日發電】鹿鐘麟、劉郁芬氏は太原より潼關に赴き宋哲元、孫良誠、石敬亭氏等と軍事會議を開いた

石友三氏の歸順勸告 馬青島市長蚌埠に向ふ

【青島廿一日發電】青島市長馬福祥氏は閻錫山氏の依賴により石友三氏の中央歸順を取り持つ爲め二十日夜九時發列車にて濟南經由蚌埠に向つた

滿鐵庶務部長 木部氏辭任 廿一日附發表

滿鐵では廿二日の社報を以て豫報されたた如く木部庶務部長の退任を廿一日附で左の如く發表したが右は內地に新設の某傍系會社首腦に轉出の爲めであると稱せられて居り後任は當分補充されず齋藤理事の兼任の儘明春の職制改正に迄至るものと觀られてゐる、因に木部氏は年內に上京の筈である【寫眞は木部氏】

理事 齋藤良衞
庶務部長事務取扱を命ず
庶務部長參事 木部守一
願に依り職員を免ず

木部氏略歷 明治三十五年學習院卒業後同三十七年領事官補となり大使館書記官、領事總領事等を歷任し大正五年官界を去り古河合名に入り降つて同十年滿鐵に入社し東京支社長を經て同十二年本社庶務部長に就任今日に至る

皇太后陛下の御殿近く竣工 御引移りは明春四月ごろ 兩陛下各宮より御祝品を

【東京廿二日發電】皇太后陛下の御殿として目下青山[illegible]田原に建造中の新御殿は近く出來を見皇太后陛下の御檢分を仰ぐ筈であるが、同御殿には特に先帝御追憶の間が御座所の近く設けられてある、御引越は明春四月の御豫定で兩陛下には御祝品として[illegible]伯に双幅の揮毫を御下命あり、また秩父宮高松宮兩殿下を始め各皇族方にもそれ〴〵御祝品を御贈進の由拜承する

排日請願を拒絕 吉林の章民政廳長が

【吉林發】敦化縣城の一部排日支那人等が相謀り過般吉林省政府民政廳長章啓槐氏宛同縣城に於ける日鮮商民の商業禁止方を請願する所あつたが章民政廳長は右に對し諸君が國家の主權擁護のために一意專心努力して居ることは衷心感激する所であるが、然し我が領土內に居住する外國人の商業經營を禁ずる事は、國際公法上より見て通商國との間に之を實行する能はざるものであるから今回の請願は直ちに聽容し難い旨の回答を與へたと傳へられてゐるが、從來吉林官界に於て排日の色彩最も濃厚なる人物とし名高い章民政廳長としては洵に珍しい命令であると評判されてゐる

滿洲の將來 太平洋調査會の反響 (7)……保々隆矣

ジョージ、ブロンソン、リー氏の正論(前承)

而してリー氏の論文の第二は「京都會議に於ける滿洲」と題するものでポーツマス平和條約の時、日本が若し一八九六年の李鴻章ロバノフ密約を知つて居たならば、南滿洲問題など今日之を論ずる要はなかつたのであると松岡氏の言を先づ引用して論陣の火蓋を切つて居るが筆者は極めて同感である。由來リー君は李ロ秘密條約を論ずる事が大得意の人である。曰く

滿洲に於ける日本の權利を評論するにしても先づ第一に當面する結論は一九二一年ワシントン會議に於て支那が自白したところである。該會議に於て支那全權顧維鈞は米國國務卿に對し、一八九六年李鴻章ロバノフ間に調印されたる秘密條約の正文を提出した

京都會議に於て滿洲問題は討論の主題であつたに拘らず不思議にも日本人も支那人も大切なる論點を見逃して居る。彼等は各種の問題について話もし、凡ての問題に關し、紙の山、本の洪水を現出したが、基本の論點を外して居つた。双方とも廿一ヶ條即ち一九一五年の條約について參考資料を提出して居ない。滿洲問題の法理論には觸れて居ない。かゝることは一體六ヶ敷い問題でも無ければ說明し難いものでもない。簡單に言へば一切の論議は一九一五年(廿一ヶ條)の條約が有効であるか否かを決する迄である。

支那側は本條約は日本の脅迫に因り且つは支那の國會の同意を經て居ないから無効であると言ひ。日本は斷然該條約の合法なるを主張し之を論議することをも拒むで居る。支那側はあらゆる機會に該問題につき發言を留保して居る。

若し支那の主張が正當ならば滿洲に於ける日本の權利はポーツマス條約に局限され、去る一九二三年には既に關東州の租借權は期間滿了であるから之に今も占據するのは侵害とあるけれども日本がポーツマス條約後退せねばならぬとすれば日本はその當時の環境、狀態に全問題をかへして茲に新なる討論をなすべきである。而して日本は支那が其後ワシントンに於て告白したる光の下で一八九六年の李鴻章ロバノフ秘密同盟條約によつて釀成されたる地位へ萬事を還すべきである、蓋し李ロ密約は明かに日本に對し敵對的侵害的であるからである。而して日本が一九一五年の條約が合法的であると主張するに對し支那が、無効で拘束力が無いと言ふならば日本は宜敷く日露戰前に於て、此戰爭を誘致したる秘密條約が存在して居たと言ふ重大秘密の發覺によりポーツマス條約が間違つて居た事を主張し(即ち重大なる要素の錯誤)支那に對し其の賠償を要求すべきである。また ロシヤに欺かれたとしても、日本はロシヤを滿洲から追出した事、及び戰時國際法によつて支那が失つた領土の家主權の恢復に對し報酬を要求すべきである(つゞく)

瀋海、吉海兩沿線の視察邦人を監視 風景寫眞すら撮影させぬ

【吉林發】東北邊防總司令長官張學良氏及吉林省政府當局が嘗に瀋海、吉海鐵道沿線の自國官憲に對し外人(日本人を指す)の經濟的發展を阻止すべしとの密令を發し爾來同沿線の下級軍警に至る迄嚴なる邦人の視察旅行者に對しても格別の意を拂つて居ることは事實である、而して最近同沿線の視察旅行を終へて歸吉した總領事館某氏等の談に依れば、吾々一行が日本の官吏であることを知りながら沿線の下級官吏即ち軍隊の檢查及巡警等が到る處に護照の點檢を迫り、或は旅館に於ては保護の美名の下に夜間巡警の立哨を附して一行の行動を監視せしめる等非常に不愉快を感じた、殊に不可解に堪へないのは各地とも市街其他の風景寫眞をとることを絕對に許さなかつた事である、彼等の我一行に對する監視的態度は瀋海沿線よりも吉海沿線即ち吉林省內に屬する地方が最も甚だしく感ぜられた云々

吉海線が松花江支線の敷設計畫

【吉林發】吉海鐵路局總辦李銘書氏は從來吉林松花江により流出する木材は殆ど全部吉長線を經て南滿鐵道に輸出されつゝあり若し吉海線の運輸發展を期せんと欲するならば、須らく松花江岸に支線を引込みて松花江出しの木材を本線路によりて瀋海線に搬出することは同時に亦我利權の挽回ともなるべし、との同局營業課の報告に基き今回省政府當局に向つて松花江岸支線の敷設方を陳情した模樣

英露の經濟的協力を力說 國交回復最初の勞農大使着英 ステートメント發表

【東京特電二十一日發】ロンドンよりの報道によれば英露國交回復後最初の勞農露大使として着任したソリニコフ氏は本日復交に關し左のステートメントを發表し英露の經濟的協力の必要を力說した

英露國交回復の政治的經濟的效果は刮目して俟つべきものがある、なかんづく英露貿易の再開はその最たるものである、ロシアは一九二九年から一九三〇年にかけその工業發展のため英國に對し四億五千萬ポンド支出の筈である兩國懸案の問題はこれから商議するところであるが、ソウエート政府はソウエート側の反對要求も考慮に入れて爲されたる用意がある、英露貿易は兩國間に財政金融の必要な條約が出來ぬ限りその急速な發展を期し得ぬが、從來ロシアは外國と經濟的孤立の地位にあつたが尙大なる發展をなし得たから假令條約を得られぬとも自信を有してゐるわけである

避難の白系露人奉軍に掠奪さる 三河地方の三千名が興安嶺を越え南下の途中

【奉天特電二十二日發】國境三河地方に於ける白系露人三千餘名は露支紛爭に依り赤軍の進入を恐れ興安嶺を越へて更に南滿沿線に出でんとせるが國境守備に當つて居る奉天軍の爲め牛馬羊は掠奪され婦人の貞操も蹂躙された

人事

▲佐藤榮志氏(大勢新聞副社長)滯在中のところ二十三日朝興急行列車にて陸路歸京
▲小野喜作氏(東京辯護士) 二十二日夜着列車にて來連ヤマトホテルに投宿
▲入並武治氏(同上) 同上
▲久留島秀三郎氏(鞍山製鐵所員) 同上

安樂椅子

二十一日出帆のばいかる丸で初上京した仙石總裁の見送りは從來歷代の社長乃至總裁の出發にも曾てない程の淋しさ▲理事連の顏は一人も見えず、大平副總裁の外に保々地方部長と田村興業部長の顏が僅に數へられただけといふ見送りの緊縮ぶり▲まさか滿鐵のお歷々が埠頭の寒さに辟易したわけでもあるまいし、さりとて雷鳴總裁の左遷ぶりに恐れをなして臨んで敬遠したものとも思はれないので▲夫となく探りを入れて見ると、これあるかな原因や、就任に際し折角用意された慣例訓示の草案を握りつぶし破天荒の名訓示した程の總裁、今度の出發に際しても一と締め▲一體社員諸君は何れも與へられた忙しい仕事を有つてゐる筈ちや、その執務時間に總裁が一寸上京するのに一々見送つたり出迎へたり餘計な隙つぶしは今後絕對に不必要ぢや▲と例の雷鳴ぶりを發揮したのでお歷々一とたまりもなく恐れ入つて斯の始末とは何と云つても痛快な總裁さまだ

明春、御渡英遊ばされる御答禮使高松宮
六月十日ロンドンに御着のうへ 翌日バッキンガム宮殿へ御參內

【東京廿二日發電】明年高松宮殿下が勅命に依り御答禮使として御渡英遊ばされる際の御日程は左の如く御內定遊ばされた
六月十日ロンドン御着十一日バッキンガム宮殿御參內御答禮
御隨員中に今回山木竹子女史も追加任命されることゝなつた、女史は多年英國にて英語を研究した人で殿下が妃殿下を迎へさせられたのち妃殿下の御世話を申上げる筈である

此處を「先途と鳴響くよ」
商店街の歳末狂噪曲
案外かたい月給取の財布の紐
争へない緊縮風

泣いても笑つてもいよ〳〵年の瀬は押しつまつて後十日で昭和五年のお正月が來やうといふ二十二日の日曜は、久方振りの和やかなお天氣……三越、浪速町、磐城町、連鎖商店等々市中目抜きの商店街は毒々しい赤、青、黄の原色のデコレーションで街全體が氣が狂つたかと許りに喚き立て自動車の警笛、交通巡査の叱咤、洋車の掛聲鄙けのペーブメントで辷りこけた嬢ちやんの悲鳴、母ちやんのお小言、舌足らずの間抜けた「愛して頂戴よ」の蓄音機店の街上放送等々……まさにこれ暮れなんとする一九二九年の歳末狂噪曲の合唱である

◇

だが、争はれない緊縮時代が浪速町の鞋店「桐のとゾーリ三割引」の前には緊縮主義のマダム達が背中と兩手に子供を引連れて「如何にして廉くて良い履物を選ぶべきか」に專念してゐる、かと思ふと同じく軒店の大連勸商場臨時販賣所ではこれまた安い靴下ネクタイシヤツ、毛糸の帽子等々が可成り多くの顧客を吸收してゐる、五十錢均一の萬年筆、五册一攫廿錢の子供の繪本……てな物は香具師が金切り聲で文字通り叩き賣りをしてゐる「安からう、惡からう」ではなくて人はたゞ「安からう、良からう」と遮二無二に安さうな物に飛付いて行く

◇

景品付特價品大投賣……破格大勉強……お入り下さい、特價品山積して居ります……紙、糊界率先一割値下……等々のスローガンを記した看板もごろ澤山あつてはおでもあり得ない、三越を出る人々客さんの財布の紐には何等の刺戟も浪速町から歸つて行く人々も、さて何を買つて行くのかと見るとみな大した買物をして來た樣子はない「未だ思つた程買れて行かない」これが各商店の內幕から見たけふこの頃であらう、幾らサラリーマン都市であるにしろほんとの歳末ショッピングは先づこの次の日曜乃至は廿五日頃から始まるも

勅題の詠進歌
四萬首に達す
例年より一萬首も多い

【東京廿二日發電】昭和五年歌御會は一月下旬宮中に於て執り行はせられるが去る十五日を以て締切つた勅題「海邊巖」の詠進歌は四萬首に達し例年より一萬首多く御歌所は大喜びで整理に努めてゐる

注連飾投賣り時代
商賣はつらい安價第一
鮮支人に押れる邦人製造業者
師走を行く（22）

格子戸もドアーも閉つてヒッソリ閑と靜まつてゐる家の姿だけを想像するとかなり殺風景で不景氣なものしか浮んで來ないが綺麗に拭きたてられた格子戸にまたドアーにあの青々とした注連飾が取付られ靜かで淨らかな元日の町の家々の感じは恐らく日本人でなければ知る事の出來ない情趣であらう神棚にも鏡餅にもこの注連飾を飾りつけてお屠蘇を祝ふ元旦の儀式は今も昔に變りはない。

◇

大連の正月の注連飾りの需要は勿論人口に比例して增してはゐるが內地から輸入したのは大正二、三年頃までゝ現在では大連で自給自足の狀態どころか製品の約二割方は奧地に送られてゐる、そして以前は勿論日本人が造つてゐたが一時に客の方で飾り形の好い惡いを氣にかけないためもあり、工賃の安い關係から今では日本人は殆ど影を潜めてしまつて支那人と朝鮮人が盛んにこれを造つてゐると云ふ。

◇

神社或ひは特別な常顧客に納めてゐる日本人の注連飾りやさんは大して需要が少なくなるとか値段が安くなるとかいふ事もないやうだが、それでも大正七、八年頃の好景氣時代は隨分好いのが賣れたさうである、種類による賣上げ割は牛蒡注連五割、玉注連三割、京注連二割位であるといふ。

◇

二十五日過ぎになると例年の通り信濃町の市場の廻りにギッシリと注連飾りやさんが並ぶであらうが今年の景氣の豫想について或る日本人の專門屋さんは語る
今日もある汽船會社から約束の注文を斷られたやうなわけで例年より不景氣を豫想してゐますそれに造るのは支那人ですからそんな事を考へずどん〳〵造るので値段も安くなり玉注連で十五錢、牛蒡注連で二十錢、京注連で十五錢見當が普通の値段でせう、勿論好いのは牛蒡で一圓五十錢、玉で五圓位のがありますがそんなのは殆んど出ません昨年は消費組合で五、六百圓の注連飾の買入がありました

◇

昨年信濃町市場の廻りで賣つた店の一日の賣上げ數は大體五、六十個位であつたやうだ、面白いのは三十一日の夜遅くなると支那人がどうせ正月になると不要となるので、ほとんどタダに等しい値段で賣るのでこれをねらつて買ふ要領の好いお客も相當にあるといふ。
（寫眞は注連飾作り）

豆粕の食糧化に力瘤を入れる
蒸溜器も近く到着
世良試驗所長の歸來談

中央試驗所長世良正一氏は公用を帶び內地旅行中のところ廿二日入港はるぴん丸で歸連したが船中語る「今度はどちらかと云ふと自分の用事が主となつてゐたものでついでに目下中央試驗所が研究中の豆粕の食糧化と云ふ事に關し內地のその筋の人達の意見を徵して來たものであるが何れもやつて見て採算のとれるものだつたら是非實行に移つて貰ひたいと云つてゐるで試驗所の方でも更に努力を拂ふつもりである、今州內に大豆の蒸溜所を建設中でこれに要する特別裝置の蒸溜器を大阪の坂田工場に注文中であつたが、一向來ないので一寸催促して來たが、機械は漸く完成し次船の廿四日入港の香港丸で來る事となつた、尚試驗所ではこの豆の食糧化と云ふ事に對してこれを一種の國家的事業と見て夫々專門家が研究に研究を重ねてゐるもので如何にこれと經濟的になし得るかゞ殘された問題なのである」

のと觀られるが、案外月給取階級の財布の紐のかたいところから觀るとその消費、購買慾がほんとに具體化するのは年明けて正月になつてからであらう

◇

案外なのは開店までに掛聲ばかりいやに高かつた連鎖商店街の賣出振りである、今のところは先づ浪速町に斷然喰はれて顧客でなしに見物客がぼつ〳〵詰めかけてゐることほど左樣に各加盟商店の勞捕ひが出來てゐない樣だ

犯罪の證據にトーキー應用
費府探偵局の試み

【ヒラデルヒア發】最近トーキーが醫科學上の實驗その他各方面に應用され非常なる効果を舉げてゐることは周知の事實であるが近來ヒラデルヒアの探偵局では犯罪事件にトーキーを利用して大に便宜を得る事實を確認し世界に於ける犯罪科學の領野に一新生面を開いたのである。その一番にこれを試みたのは今年二十七歲になるウイリアム・ピーダースと呼ぶ靑年がその愛人たる美術家のレオナ・フイッシバッハ孃を殺害した事件でこの靑年が署長の訊問に對し自白せんとした際不意に探偵長の頭にトーキーのことが浮んだのに端を發する。そこで早速これを使用することにした。そして訊問が始まつた。
「ナゼお前はここに引致されたのか」
「人殺しをしたからでせう。私は昨晚私の愛人をピストルで殺害しました」
といつた風に殺害の次第を逐一自白に及んだ。そしてその時の靑年の表情と語調とがハッキリ記錄されこれによつて陪審官の前に有力な證據物件が提供されることになつたワケで今後は引續きこの方面にトーキーを利用する筈である。

自由出品の無鑑査の美術展
大衆の批判に呼びかける
二科の新しい試み

【東京二十二日發電】二科會が主催となつて明春から無鑑査自由出品と云ふ新らしい試みの美術展を開くことゝなつた、之は同會の秋の展覽會とは全く別個のもので名稱も特に日本アンデパンダン展覽會と稱し洋畫、日本畫、彫刻に亘つて出品を受付けるが作者は何れの團體に屬するも差支へなく作品は公安風俗を害し又廣告宣傳に亘るものでない限りどんな傾向のものでも差支へない從つて從來の展覽會の新制度に禍ひされて驥足を伸ばし得なかつた人々にも自由な活躍舞臺が與へられる譯で直接大衆の批判に呼びかけやうとする處に極めて新時代的な意圖を示してゐる第一回は明春二月一日から十四日迄上野日本美術協會に開催するが申込みは一月二十三日迄

定期船が運ぶ滿洲のお正月
きのふ入港のはるびん丸で
迎春用荷物の山

入港船每にお正月が迫つてくる、廿二日入港のはるびん丸も暮れらしくお客さんは少なかつたが甲板はお正月用品でギッチリだ、蜜柑が七百三十餘噸、後部甲板はすつかり蜜柑に占領されてゐる、今年は滿鮮旅行が少いからこちら廻りのものが多いだらうと船ではいつてゐる、それに鮭鱒や鮭鱒の類、門松用品や酒樽等々……解良事務長は「やつぱり暮ですなあ、お客さんが動かない代りに荷役が山の樣ですよ、お客さんの中にはお正月用の松竹梅の鉢植へを持つて來られた方が多く三十餘りも並べてあります、中には一人で四つも五つも鉢を抱へてゐる人もありますからね、まあ滿洲のお正月は何と云つても內地から定期船が運んでくるのですよ

はるびん丸新バースへ横付け

定期船のバースが變更して最初の入港船はるびん丸は廿二日午後三時半頃入港したが、直ちに十一番バースに横づけられ渡橋の具合もよく新しい埠頭に無事乘客は上陸出來た

頼る父親が無殘の墜死
哀れな苦力の倅

市內濃田町百廿九番地竹中商店では大連港第一區浮標に繋留中の蒙古丸のダンネーヂ作業を請負ひ、埠頭構內より苦力四十六名を募り廿一日夜より徹夜で作業中であつたが廿二日午前五時ごろ、右苦力中市內沙見町四十九號徐健亭（三三）が第一番ハッチより約四十尺ほどの船底に墜落頭部を粉碎即死しているのを發見、水上署員の臨檢を仰いだが、死亡した徐健亭には徐輪といふ八歲になる倅があり親一人子一人の淋しい家庭のうへ徐輪は父の非業な死を知つて泣き悲しむ倅に、これを見かねた同僚の苦力連は一二錢と持錢ちより八十錢餘りを與へたとは近ごろ涙ぐましい話、因に徐輪は宏濟善堂に引渡し育てゝ貰ふ事となつたが、竹中商店でもこの盲目の倅に金一封を見舞金として送つた

ハテナ？

父母兄弟姉妹、みな驚くこまぬいて思案顏——解つたア、ヘ、家中大騷ぎはひ！富士新年號の附錄『新案智惠袋』誰でも御覽早く御覽！

寶町の宵火事

二十二日午後六時五分市內寶町一番地、支那人毛裕志方廚房より出火し中二階建一棟燒失したが、消防隊の活動により類燒なく同四十分鎭火した、損害約三百圓

金丸家不幸

金丸氏次女和子（二三）孃は病氣ところ二十一日午後三時死去は二十三日午後三時途中行し若草山西本願寺にて執行

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿三日（月曜日）
自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、露語講座第二十七課大連語學校グロースマン
三、三曲娘道成寺（唄、三味線）森川とし子（箏、木本初枝（尺八）辻泰正
四、喜劇假の宿高島屋源太一座
五、俗謠數種（唄、三味線）原田しげ
六、支那明折魚殺家（唄）張後順、（師付）玉振泉
七、料理獻立
八、天氣豫報

安東鮮人細民の耕作計畫進捗す
用地や資金の融通もついて
明年播種期迄に實現

【安東特電二十二日發】安東朝鮮人會其他が安東地方事務所及び安東領事館の鐵道用地を臨時借入れ在安鮮人細民に耕作をなさしめるべく計劃し着々準備を進め明年播種期までには實現の模樣である右に關して領事館林副領事は語る
朝鮮人會の名で目下借入れの手續きをなしつゝある土地は六道溝方面で地方事務所管理の分が約四、五萬坪、鐵道關係の分が約三、四萬坪で併せれば七、八萬坪であるが地方事務所では衞生上の見地から人糞其他の牛肥料使用を禁じられてゐるので乾肥を使用する事に就て目下研究中である亦耕農資金の方は鮮金融會から何萬圓でも融通がつくし商業資金は滿銀安東支店から農蠶資金は奉天の東亞勸業公司から特殊の契約で融通を受け現在でも順調に行つてゐる

奉天

昭和五年度の公費を査定
二十日の地方委員會

昭和五年度奉天區公費査定の地方委員會は既報の如く二十一日午後一時より地方事務所會議室に於いて開かれた、太田所長、大岩地方係長、松本同主任其他數名出席地方委員側からは賈、北爪、大西、尾崎の四委員缺席の他鵜尻議長始め十二委員出席し、最初太田所長より公費査定に關する説明があり審議に移つたが、補給金問題で荻原委員と二三問答があり歳出豫算から協議を開いた、五年度歳出入總豫算は四十七萬一千八百五十九圓で昨年度より二十一萬一千九百二十五圓の減少で原因は下水排水ポンプの撤廢に因るもので、會議は漸次進められたが、山本委員旺に質問し殆ど一人舞臺の態であつた鵜尻議長の裁決振りも又鮮かなところがあり左程の紛糾もなく閉會したが二十二日夜金龍亭に於いて懇親會を開くと

都市計畫案は大體承認さる
本社との打合せを終り 大岩地方係長歸奉

奉天における都市計畫につき着々計畫を進めてゐる地方事務所では大體の計畫が樹つたのでこの程大岩地方係長が赴連し滿鐵本社の關係部と打合せをなし廿一日歸奉したが一同氏は語る

當地案は大體承認されたので無事に通過するものと思つてゐるが差當り現在の校地即ち中學校を移轉せしめ同地を商業地となし公學堂、敎事等を南方新開地に移し春日公園も交通の關係で取除けて通路とし傍に小遊歩地を設ける豫定である是等の計畫は何れも明後年頃から着手されるであらう、その他は年々改造を加へ十年後には立派な都市とする考へである

消費組合の實情調査
野添書記長談

滿鐵消費組合問題實情調査のため赴連した野添奉天商議書記長は廿一日朝歸奉したが語る

自分としてはこの問題は純理論的に進まねば根本的解決は望まれぬと思つてゐる大連の新聞でも奉天も一緒になつて運動を開始すると傳へてゐるがこれは誤傳で奉天としては問題惹起以來市中商店側から屢々對策講究方を申出てゐるので輸出信用補償制度の内容聽取旁々消費組合問題の内容調査をなしたまでゝある廿一日の役員會で始めて本問題に觸れたのであるが問題といふのは現金賣、無税商品の無制限、立替拂の四つにあるしかし要は純理論的に進まねば解決は困難であると觀てゐる

小倉新所長 廿七日に着任

小倉新地方事務所長は二十七日の急行で着任事務引繼を行ひ二十八日就任披露宴を張ると

日支共同調査 榊原農場問題

榊原農場内の無斷土地使用問題に對し奉天總領事館は支那側に抗議中であるが二十日日本側よりは森島領事榊原氏代人中野辯護士、支那側よりは曹日本科長及市政公所の測量技師の共同調査を行つた

元陸軍用地の貸付開始

加茂町横の元陸軍用地は既報の如く來一月早々貸付の受付を開始し三月までに決定する筈で貸付地積は八千坪であると

除隊兵離奉期

奉天駐箚除隊兵四百名は來る廿六日午後十時四十分發列車で大連經由離奉することになつたが一般多數見送りを希望すると

在滿鮮人調査

奉天省政府は南京政府よりの命に依り在滿の鮮人調査を行ふ事になつた

庵谷會頭歸東期

庵谷奉天商議會頭は二十日歸奉の筈であつたが、都合により二十二日神戸出帆二十六日頃歸奉の筈であると

町の便り

廿一日奉天署に對し年末貧困者救濟資金として市中から楢立町十六番地某氏は百圓、十間房西本願寺からは米五俵、高原氏は米三俵を夫々寄贈した ◇東亞勸業會社々長田邊敏行氏は廿一日午後七時から金龍亭に於て在奉新聞關係者その他を招待し張宴した ◇廿日午後七時半頃浪速通六番地露人菓子店ヨーロッパ方より出火し大事に止らず消し止めたが原因はペーチカの設備不完全、損害百五十圓 ◇去る十八日突然姿を消した柳町いろは樓抱藝妓小染事中村たか子(一九)は廿日夜飄然と歸宅した ◇朝鮮黄海道生前科一犯金成根(二二)は廿日夕市内正門通中馬洋服店に侵入し洋服地十一點價格四萬卅二圓九十錢を窃取し自轉車に乘り逃走の途中逮捕され目下餘罪取調中

瀋陽駄話

這回の露支紛爭で時來れとばかり奉天派はお得意の掠奪暴行を遣つて居る▲今の處その情報が達せないが何れ通信交通機關でも恢復したら戰慄すべき悛話を齎すべくそして人道問題として當然叫ばれるであらう▲饒舌の國民だけに「反對」を喜ぶ支那人の得てあり勝な事だが滿鐵外交協會までが小幡公使反對などゝ騷を喚し張御大に請願書までだした▲恐らく反對すべき理由さへ知らずにオーライ式にこの擧に出たものであらうが地理柄も考へず馬鹿げた猿眞似をするもの哉

人事

▲アソイエジ氏(駐日伊太利大使)夫妻廿一日安奉線急行にて來奉 ▲市川營業課長 廿一日朝滿、奉公主嶺へ ▲川邊鐵道事務所工務長 廿一日歸奉 ▲桂城食堂車支配人 廿一日赴連 ▲白井鐵道事務所營業長 廿一日長春へ ▲孫傳芳氏 廿一日大連より來奉 ▲西村撫務省事務官 廿日長春へ ▲陶尚銘氏 廿日夜大連へ ▲安脇四平街署長 廿日四平街へ

哈爾賓

富錦方面の露軍襲撃模樣
最近に歸哈した人が當時の詳報を傳へる

富錦方面の松花江下流ラハスス、富錦に露軍が襲來した當時の狀況は支那側の一方的報道のため信を置かれなかつたが、最近同地方から歸來した人の話によると十月廿八日午前と午後の二回に亙つて赤機が富錦の

上空に 現はれ彈を投下したのは碇泊中の江亭を破壞するためであつたが、其時は既に沈烈氏の率ゐる江防艦隊は既に三姓に引揚げた後で、戰鬪力を失つた江亭は遂自ら爆破して沈沒し、愈々廿九日には露軍の騎兵約一千五百名を乘せた輸船が五隻驅艦をふくんで一隻の軍艦に擁護され富錦を去る三十支里の地點に

上陸し 當時支那軍は約三千がこれに應戰したが露軍の砲彈は城內に數彈飛來し非常な危險となり止むなく支那軍は富錦から百支里の地に總退却した、支那軍撤退した露軍は直に入市するや市內に潛伏せる支那軍の搜査を開始し且つ民家で銃器を有するものを全部調査した後穆東、東興德の製粉工場から約一萬三千布度の麥粉を押收して

引揚げ たが、露軍の撤退したのは卅一日であつた、其際公共機關は殆ど粉碎されたが露軍が撤退したと聞いた支那軍は再び進擊を開始したが、それより先に約二千名ばかりの匪賊――敗戰した支那兵――は掠奪を始め市內大小の各商店に對し一齊に襲擊をなし放火、強姦あらん限りの狼藉を盡しそれがため目星しい宏壯な建物は灰燼に歸しその

災害を 受けたものは約百餘戶に達し電信、電話は不通となり一時は無警察狀態となつた

其後十一月七日に至つて初めて市內の秩序は平靜にもどつたが人心は依然として恟々動搖し蜚言は盛んに流布され安定にならなかつた、最近は露軍の攻擊は第二として一般商店は店を閉ぢた儘殆ど商賣をせず極度の金融難に陷ち吉林省政府に對してこれが一時的緩和のため臨時に

地方的 の通貨として百萬元の發行方を商民團は交涉してゐるが未だ許可するかどうかの返答がない、其れで市中は全く火の消えたやうな寂寥さである大豆の如きも一時石二十三四元から七、八元を唱へてゐたが輸送の途中が危險と滯貨のために十三、四元に奔落した、支那人商人等は自國の國防軍に信頼せず一樣不安に襲はれてゐると露軍の襲擊よりは支那自國軍の暴動と掠奪を恐怖してゐることは恰度西部戰線と少しも變りない

釋放しても國境外に追放
東鐵破壞の勞農露人

十七日松浦鎭に拘禁中のソウエート國鐵人を視察したドイツ總領事ストッペー博士は傳家甸の第三監獄に押送された犯罪者をも調査したが、拘禁ソウエート人の釋放に就し支那側は政治的犯人は別として東支の破壞工作に關係したものは假令釋放するにしても國境外に追放することに決したと

金州

異動は相當廣汎
長谷場氏は旅順に 池田氏轉任は未定
民政支署の人事近く發表

關東廳管下の人事異動問題は早くから話題に上り其の發表が遲れた爲め現在では少しダレ氣味の觀があるが當地でもお多分に漏れず其の下馬評で持ち切つて居る確聞する所に依れば目下內定して居るものは稅務係主任長谷場純氏の旅順轉任と其の後任として大連稅務係酒井確爾氏の來任、電氣係主任木谷鶴次郎技手の勇退が決定して居るらしく後任署長問題は內地より新職入の事務官中か或は若干の有資格者中より拔擢する模樣であるが未だ確報を得ない、池田總務長の普蘭店行か或は專賣局行の噂も專らであるが未だ何れとも確然せず、何れにしても近く發表さるゝ異動中に高級古參者の多數を有する當民政支署の動搖の程度は大したものであらう

勇退する木谷電氣主任
退職後は滿電に入社

近く勇退する民政支署電氣係主任木谷鶴次郎氏は來金以來十餘年、當地官營電燈創設直後に來任したが爾來氏の手に成る電氣事業の發展と擴張とは目覺ましいものがあつた、普蘭店の配電線路擴張、貔子窩線の擴張、三十里堡、石河方面の擴張、愛川村及び大孤山方面の擴張等其の功績は枚擧に暇なく一面生活に於ては金州の爲めに盡瘁した處少なくない、氏の離金に依り我が金州は一入寂寞を感ずることであらう、尙退職後の氏は滿電に入社する由である

營口

武德會支部納會

武德會營口支部の納會は二十日營口憲兵隊武道場に於て開會、出場者は警察署憲兵隊市中有志三十餘名、劍道は岡田敎師小川三段、石松二段柔道は中國三段、橫山三段の審判にて高點試合をなし岡田敎師の大森流居合、打太刀初段大鷹義實氏仕太刀初段齋藤彌氏の帝國劍道形あり、五人拔は劍道一等瀧主大郎氏二等阿部初段三等丹羽巡査柔道は一等久保巡査、二等宮澤氏三等岡田氏の成績にて石井署長より賞品の授與ありて閉會

敎化團體發會式

營口敎化團體の發會式は二十二日午後六時から營口座に於て開會「營戶岬」「我等の日本」の寫映あり、關本所長「敎化團設立に就て」、白石和三氏「昭和維新の精神」、神山一二三氏「敎化聯盟に就て」、鳩島支部長「敎化と我慢」山崎北陸「國の精華」石井署長「國民敎の途」の講演に續いて社會劇「國難來」等あり盛會を極めた

牛莊領事館御用納
御用始は四日

牛莊領事館では來る二十八日御用納めをなし一月四日御用始めを行ふと、尙同館の一月一日の拜賀式は午前九時半より同十一時半までの間に行ふと

開原

地委聯合會
提出議案と出席者內定

明年一月十八、九の兩日奉天に於て開催の第七回地方委員聯合會に當地よりは佐竹議長、龍田副議長久富委員の三氏出席の事に內定し又左の二議案を提出の事に內定したと

一、滿洲產米穀の輸入解禁を政府に要望の件
一、在鮮人指導誘掖に關し滿鐵本社に要望の件

准職員合格者

滿鐵の第五回准職員資格試驗合格者は十八日付發表されたが當地在勤の合格者は左の四氏である

甲種 開原驛連結方 內藤豐
同 小學校小使 黑山一雄
同 公學堂小使 小林幸三郎
乙種 開原驛信號方 森萬壽郎

大麻と暦頒布

伊勢大神宮大麻及び神宮暦は每年開原神社神職に於て頒布しつゝあつたが本年は神職未決定の爲め各區長に依賴し各戶に頒布する事となつたが大麻と略暦にて金二十錢なりと

圖書館の休館

開原圖書館にては例年の通り來る二十八日より一月五日まで年末年始の休館をなすが冬期の折柄時間を有意義に利用せしむべく且は讀書奬勵の意味にて二十六日と二十七日兩日に特別帶出五冊を許可する事になつたと讀書子の福音と云ふべきである尙從來帶出中の圖書は整理上至急返戾ありたいと

鞍山

小包のなかに信書を入れるな
井之井郵便局長の談

本年も愈々押迫り各方面共慌たゞしい歲末氣分を見せて居るが分けても郵便局に於ける小包の發解事務は頗る繁忙であるが、年末の多忙に紛れ何等の考へもなく小包中に信書を封入して發送する者を各地で發見され最近遞信局で郵便取締法に依つて處分を受けたもの十件に達したとの事であるが之れに關し井之井郵便局長は左の如く語つた

小包郵便を內地に發送される場合に於ては小包の中に信書を封入してゐるか否かに就てはその都度訊してゐるが未だ鞍山においてはさうした例は一つも發見されないが御承知の通り內地行きの小包郵便は大連海關に於て遞信局の立會の下に開封されて檢査されることになつて居りその際假令紙片と雖どもこちらの意志が先方に通ずる樣な文章が認めてあれば信書と見做され郵便取締規則違反として處分されることになつてゐるから此點は一般に注意されたい

國際列車で戰線を突破の記(二)

驛のプラットに吊された少年の首
國際列車を迎へて大芝居
博克圖にて 神藏特派員

十一時頃胡第二軍長から使が來た國際列車運轉について相談したいから司令部まで御足勞が願ひたいとの口上、早速行くことになつて東鐵領事官補、米國副領事リリストン、其他領事館關係者丈けが司令部を訪問することにして、何時まで經つても外交官が歸つて來ない、支那式に一同を歡待してゐるのだらうが新聞記者や通信員は氣が氣でない

◇**交渉が面倒に** なつたのではないかと一同心配し出したそこで記者は藏士哈日子と一緖にこつそり樣子如何にと內探に出掛けた、そこへ重松官補が心配さうな顏をして胡軍長の話では大體免渡河とヤケノシとの中間で赤軍約二千が昨夜來襲した、免渡河以西は危險である、支那側は免渡河まで安全に保護するが之れから先は行くなら勝手にお出なさい生命の安全は保證し難い、と言つてゐたと告げる、何だか嚇し文句のやうでもあるが然し軍長ともあらうものが嘘八百を云ふ筈もない

◇**兎も角電話と** 云ふので電信室に飛び込んだがまだ何となく信じきれない氣がするので試みに電信技師に頼んで免渡河驛員に問合せて貰つた、すると免渡河は至つて平穩だ、戰爭のあつたやうな樣子もないとの返事、免渡河からヤケノシまでは汽車で一時間足らずで、その中間で戰爭があつたのを免渡河の驛員が知らぬ筈がない、狐につまゝれたやうな氣で列車に歸つて來ると何時はりつけたか大きな字で

◇**歡迎各國領館** 代表と大書してある、それまで氣がつかなかつたものか知らぬがプラットフォームの片隅に生首が吊してあるのを見た、ケは不思議と出掛けて見ると附近の將校がニコ〳〵しながら見せて呉れる、死顏とも思へない、赤味を帶びた顏に切られた時に地に落ちたものだらう黑い土が附着してゐるそれを繩でくゝつて梁に吊るしてゐる、どう見ても十六、七の少年だ、どう云ふ理由かは知らぬが可哀さうな氣がする、一士官がぐる〳〵と一巡して見せる

◇**恨めし相に睨** んだ目がこちらを向く、體中がゾッとする、側の士官が頻りに遠方を指して行かう行かうと誘ふ、何を見せやうと云ふのか知らぬがこの上首の離れた屍體でも見せつけられちやたまらないから御免蒙つた、午後又鄒鐵路警署長が通譯をつれてやつて來た、この列車は午後三時に免渡河に向ひますと傳へる、その時リリストン米國副領事君がすかさず「あのこの生首はどうしたのですか」と尋ねる、鄒署長は待つてましたと許り「あれは一兵卒でしたが軍規を紊つて民家の掠奪をしたからです」と、それで斬めた、あれ程の掠奪が一少年の犯行だとはあまりに空々しい國際列車が來ると云ふので大分カラクリがあるなと一同感付いた

愛慾の窓 (196)
戸川貞雄作 淺枝次朗畫

審判(六)

犬のやうな銳い感じかたと多年の經驗とから、龍吉は先方で感付くより前に、いつも此方で危險を感じ取るのであつたが、今もさうだつた、一間を越える川巾の小川を、身輕くひよいと飛び越えると、彼は思ひがけない目の前に、雪を被つた生垣がうね〳〵と續いてゐるのを發見して、犬のやうにもぐり込んでしまつた。もぐり込んでから氣が付いてみると、そこは墓地であつた。よほど由緖のあるお寺の墓地なのであらう、ところ〴〵に古木が蓊鬱と影を落してゐて、小徑が縱橫に石塔や卵塔婆の立つてゐる間を通じてゐる。

――ほう！こいつはお誂へ向の場所へ忍び込んできたものだ喃。

龍吉は立木の暗い影に身を寄せながら、膝や肱にねばり着いてゐる泥雪を拂ひ落した。そしてかゝる場合にはこの上もなくうまい味のする煙草を喫ひはじめた。

あたりは靜かだつた。

風は全く無く――しかし白から溶けて落ち散る枝雪が、折々、ぼさりと人の跫音ほどの音を立てるもとよりそんなことに悸える龍吉ではなかつた、一服しおはると、彼は今更の立木の影をふみ出て、やうに月を仰ぎ見た。白金のやうにきん〳〵と冴えた月だつた。ぢつと仰いでゐると、眼が痛くなるやうな氣がした。

――いゝ月だなあ！

龍吉はおぼえず呟いて吐息づいた。

――さて、お月さん！おれはこれから何うなるんだ？はゝ、そんなことをお月さまが知るものか！馬鹿だな、龍吉は！

だが、彼はその時、月が、可哀さうな龍吉よ！と呼びかけてゐるやうな氣がした。いや、月ではない、姉の実知子が……。

龍吉の眼からは、涙が溢れ出した。

――姉さん！堪忍しておくれ！おれはまた惡いことをしてしまつた！

姉の実知子を想ふと、いつも彼には後悔慚愧の念が起る。だが、その姉にはもう二度と再び會へないのだ。

今更のやうに、やるせない、寂しさが、ひし〳〵と胸に迫つて來た。

バサ〳〵ッと音を立てゝ、高い立木の梢から、雪が落ちてきた。

するとその後には、また二倍にされた靜寂が返つてきた。月の光はいよ〳〵白く、獸々と雪を照いて立ち並んでゐる墓碑は、明暗をくつきりと際立たせつゝ、まるで氷の柱のやうに見える。

ふと龍吉は、死を考へた。

――一層のこと、死んじまはうかな？その方がおれ自身にも、姉さんにもいゝんだ！さうだ、おれが生きてゐることは、姉さんのこれからの生活に絕えず暗い影を射させることだ！

立ち並ぶ墓の間の徑を、龍吉はうなだれながら步き廻つた。

――何故、そのことに氣がつかなかつたんだらうなあ……生きてゐたからつて樂しい世の中ぢやあないのに！はゝ、馬鹿な龍吉！可哀さうな龍吉……

その時、しかし龍吉は步みを止めて、傍らの立派な墓の鐵柵の蔭に身をひそめた。雪を踏んで近づく人の跫音を耳にしたからである。やがてがや〳〵と話聲も近づいて來た。

「……しかし、こんな雪の夜更けですからのう、よもや、墓地なんぞへ……」

「いや、何とも云へん！姿を見掛けた人が……」

龍吉は、自分のことを云つてゐるのかと思つて慄乎したが、間もなくそこに現れた人々を窺ふと、寺の提灯を携えた寺男、それに若い納所坊主と後から老僧、他に職人らしい若者に提灯を提させた老人といふ人數で、警官や刑事らしいものゝ姿はないので、彼はほつとした。

「……見えんやうですの」

「……するとまだ來んのかな」

「……どんな事情からか存じませんが、靜岡へお戾りになれば……やはり眞先に……」

「いや、眞先にこゝへ來さうな氣がするのでな……わしは心配でならんのぢや」

龍吉は見窮められることをおそれながらも、彼等が聲高にそんなことを語り合つてゐるのを聞いてゐた。

新刊紹介

▲世に勝つ 附新禪言（法學士湯淺一雄氏著）金解禁をすれば不景氣は益々深刻になるものと覺悟しなければならぬ、併し吾々はこの不景氣に負けては居れない、これを押しつけこれを切拔けて生活の勝利者となる事が必要である、それにはどうすればよいか、著者は知事の職を擲つて浪人となり歲兩履歷を考へてゐる內に奇蹟的に奥伊豆の聖師と發稱されてゐる友人に邂逅し科學が說明し得ぬ人間の力、自然の靈力を體得して其友人から其の冷靜な達觀し新禪言を聞いて體得し世に勝たんとする人に提供したのが本書である（定價金一圓二錢、東京市日本橋區本石町三丁目至誠堂書店發行）

滿日俳壇募集規定

次回課題「冬の月」「毛衣」「千鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八二、島田靑峰宛

▲新聞風景（創刊號）新聞內報界の若い人達によつて創められた雜誌で新聞人の寄稿多く從來の新聞に關する雜誌に比べて非常に興味が深い（定價金三十錢、東京府下荏原郡矢口町道塚一九五新聞風景社發行）
▲南滿洲警察協會雜誌（十二月號）定價金四十錢、旅順關東廳警務局內南滿洲警察協會發行
▲海防（十二月號）定價金二十錢 東京市麴町區丸ノ內一丁目六番地海防義會發行
▲さつき（十二月號）定價金三十錢、東京府下駒澤町上馬六〇六番地さつき發行所發行
▲世界と我等（十二月號）定價金十錢、東京市麴町區丸の內二丁目十二番地國際聯盟協會發行
▲世界美術全集（第廿七卷）古典派、浪漫派バビルゾン畫派、清和末期、德川（享和久政）時代等の逸品百三十八點を集む、コロー、ミレー、ターナー、ジョン、コンスタブル、抱一、文晁、竹田、鐵齋泉、北齋等の筆は中でも光つてゐる（豫約品、東京市麴町區下六番町一〇平凡社發行）
▲愛誦（一月號）萩原朔太郎、堀口大學論、三木露風論、川路柳虹論其他多數の詩話歌等を收む（定價金五十錢、東京市小石川區江戶川町一八交蘭社發行）
▲スタイルブック 新聞雜誌に執筆する者の必須書である（非賣品、大阪市北區堂島上二丁目四六大阪每日新聞社發行）

夕刊
滿洲日報
十二月廿二日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

哈府で暗礁に乗上げた露支兩國の交渉難點
ロシア側は市民が示威運動　決裂には至るまい

【ハルビン特電二十二日發】久しく續行してゐた哈府の露支交渉は十九日ロシア側は市民の示威運動を行ひ國境の支那軍撤退、拘禁者の即時無條件釋放各支那機關に採用さるゝ白系露人中、今回の紛爭を誘發した者の解雇、反ソウエート反動團體の解散等を速に支那に承認せしめよと聲明し哈爾賓に於ける白系露人ルーボル、ザリヤ、ルースコエスロウオ等の反ソウエート紙の發行停止を要求しシマノフスキー全權は露支紛爭の責任者たる張景惠、張國忱の即時辭任せしめることを主張して讓らず、支那側のロシア系の蒙古軍が海拉爾以西に駐屯し諸所占領せること滿洲里の軍制を即時廢することを要求し交渉は遂に暗礁に乗上げた模樣である、然しニコリスクに於ける議定書に調印せる點から兩國は決裂には至らぬかも知れぬが、難關に逢着したのは事實である、蔡全權はロシア領事館員コヽリン氏と共に二十三日歸哈の豫定で蔡氏は直に奉天に向ふ筈である

樂觀説も傳はる

【ハルビン特電二十二日發】哈爾賓に駐留せるソウエート代表者の說すところによると哈府の豫備交渉は圓滿解決し假議定書に調印したと云ふ一方には、悲觀說流布され樂悲二樣に分れてゐるも大體に於て周圍の事情は樂觀されてゐる

國際列車を再び西部戰線へ
海拉爾滿洲里救濟に

【ハルビン特電二十二日發】國際列車は支那側の無理解により二十一日布哈圖を出發二十二日歸哈したが、再度張學良氏に交渉し滿洲里、海拉爾救濟の國際列車を出す筈

即死邦人の氏名判明
滿洲里の被害

【ハルビン特電二十二日發】滿洲里の日本旅館に砲彈の破片が飛來した際、即死した婦人は水木ふじ代といふ、負傷者は滿鐵吉武正夫氏で、氏の嚴父は東京藏前高工の校長夫人は目下姙娠中の爲め一切知らさぬことにしてゐる

直通電話不通
哈市哈府間の

【ハルビン特電二十二日發】哈爾賓、哈府間の直通電話は二十日突然切斷した

休會明け直後の解散は困難
積極的に出る口實がない
貴族院方面の觀測

【東京二十二日發電】來議會の解散に關し貴族院各方面では左の如き理由に依り解散の題目に窮し政府の言ふが如く休會明け早々の解散說を否認してゐる

即ち 政府が積極的に解散を斷行したる前例は之を原内閣に求められる、原内閣では當時野黨より普選案を提案されたるに對し斷る重要法案は豫め興論に問ふの要ありとして解散したのである、然るに現内閣は少數黨なるが故に組閣直後解散の機會があつたに拘らず之を爲さず然かも重要政策たる金解禁の斷行を獨斷を以て決定したる以上原内閣當時の如き解散の例に倣ふことが出來ない從つて政府は今や積極的解散の口實が失はれてゐる形であると言はねばならぬ

而して 一方野黨側の態度を見るに豫行豫算に關し憲法違反論あり、本問題は朝野兩黨各々言ひ分あり結局五分々々であつても目下の各府縣會の大紛糾に鑑み野黨側として痛擊すればするだけ對選擧戰には有利に展開すべく疑獄事件は兩黨相殺の形勢でもあるので倚更野黨としては本違憲論の論議を盡さざる間は不信任案を提出せざるべく政府は解散の口實如何では選擧戰に重大影響を及ぼすから機會を捉へるに相當苦心を要する事であらうと云ふに在り尚一部では疑獄事件の頻發に依り朝野兩黨共に黨費調達に相當苦慮してゐる事實よりして本觀測を裏書してゐる

斷行期促進を伊澤氏が進言

【東京廿二日發電】貴族院側では別項の如く來議會の解散斷行遲延說の擡頭し來つた折柄貴族院同成會の伊澤多喜男氏は二十一日濱口首相を訪問し政府は致下の政情に鑑し解散斷行期の促進を進言したと傳へられ各派では政府の態度につき注目を加へてゐる

安達内相と與黨懇談
議會對策協議

【東京二十二日發電】安達内相と民政黨幹部の懇談會は二十一日午後六時から内相官邸に開會黨側から藤澤、鶴見木、中村（啓）富田原（脩）櫻内、本田、武内（小山櫻井等缺席）の八氏出席、先づ對議會策につき協議の結果議會の解散は休會明けの後正々堂々と斷行

佛國外務省より四國に覺書發送
軍縮問題の態度表示

【パリー二十一日發電】フランス外務省、日本、日本はイギリスアメリカ、イタリーの各國政府に覺書を遞り海軍々縮問題に對するフランスの態度を明かにしたと聲明する、尚右覺書中フランスは一月二十一日ロンドンに開かるべき五國海軍々縮會議の資格を國際聯盟軍縮準備委員會に對して豫備的のものたらしむべきだとの見解なる旨を特記してゐると解されてゐる

する旨の既定方針で邁進すべきは勿論なるも只政友會が森田政義氏は飽く迄失格に非ずとの主張に基いて進み召集當日出席せしめんとするに於ては衆議院は資格なきものとして拒絕すべく之に依り愈いて開院式後議事が開かれた場合政友會の態度如何に依つては茲に政府並に與黨對野黨の衝突となり如何なる波瀾を生ぜんとも限らず依

一般會計總豫算
十六億二百六十萬圓

【東京廿二日發電】明年度豫算綱要は廿三日午前頒布發表の筈であるが、これに依れば議會提出の一般會計豫算總額は十六億二百六十餘萬圓であつて先月十日閣議決定の豫算に比して減額されたるもの
一、獨逸賠償金六百三十萬圓
一、南洋廳補充金五十萬圓

增額されたるもの
一、駒ケ嶽爆發災害復舊費其の他責任支出費目の四月以降の分を本豫算に計上せるもの六十餘萬圓
等の變更が加へられたので總額に於て六百十餘萬圓を減少したるものである

民政黨議員總會順序
けふ午後開會

つて其の結果如何では休會明けを待たず平として年内解散を行ふことに一致した、續いて選擧革正に關し内相より經過報告あり最後に各自各地方の選擧地盤につき報告ありこれに基き公認候補の銓衡に入り此の際極力濫立を防止し絕對過半數の確保に努むることゝし十時半散會した

【東京二十二日發電】第五十七議會に臨む民政黨の議員總會は今二十二日午後一時から本部に開會濱口首相以下黨出身閣僚、政務官並びに所屬兩院議員一同參集して陣容を固むる事となつたが、順序は左の如くである
一、陳謝會長の挨拶
一、新會長、副會長選擧
一、各派交渉會報告
一、議事
（イ）院内役員選擧
（ロ）議長、全院委員長、常任委員長、常任委員候補者選定の件
一、濱口總裁の演說
一、議員懇親會

閻、張兩氏連名の通電内容を發表
故孫文氏の遺訓を實行して中央統一を擁護

【北平特電二十三日發】閻錫山、張學良兩氏連名の時局和平通電は幾度か發したと傳へられたが、遂に廿日太原發廿一日午後八時北平で發表された閻錫山、張學良、劉鎭華、陳調元、魏益三、馬鴻逵等の連名で内容大略次の如し
十數年來内亂續き國家日に衰へ外侮を招くこと日に太し、國家の建設には先づ戰爭を熄めることである、余は常に救國和平の志を固持して來た、五ケ月來の時局變化は忍ぶべからず、然し余は飽く迄平和解決の志ざし武力を用ゐず唯だ故孫文の天下を公になすの遺訓の實行を期した

日曜閑話
十三ケ月制の暦

現在の暦はこの儘で不便不都合のないものであらうか。よく考へて見ると第一に氣るのは一ケ月の日數の大小不同な事である。二十八日の月もあれば二十九日、三十日、三十一日の月もある。統計表を作つて月々の數字を比較する場合に、二十八日の月と三十一日の月とならべたのでは正しい比率が出て來ない。

それから今一つ厄介なのは一ケ月の日數が七で割りきれない事である。一ケ月は四週間とあと幾日といふ端數が出る。元來月と週とは二つの異つた暦制であるから、この二つはきつちりと合はない。この喰違ひが幾多のうるさい結果を生む。一週一回といふと何曜日にきめて置いても月によつて四回になつたり五回になつたりする。アメリカの百貨店の調べによると土曜日は他の日よりも二、三割方餘計に賣れる。その土曜日が四度あるのと五度あるのとではその月の賣上高が大に違ふ。今月は成績が良かつたと思つてゐると、實は土曜日が五回あつたからだといふやうな錯覺を生ずる。

◇

ではどうしたらよいか。色々の改良案があるが實業家の多數が共鳴してゐるのは次の如く改める案である。即ち一ケ月を二十八日とし、一ケ年を十三ケ月と爲すといふのである。

右の如くすると月に大小の別なく、一ケ月はどんな月でも二十八日となり、きつちり四週間となり又別表の如く一日はどの月でも日曜日となり二十日は土曜日となる。暦を繰つて「來月の一日は何曜日か」だの「來月の第一月曜日は何日か」だのと尋ねる世話はなくなる。

◇

筆者がこの事を或るサラリーマンに話したところが、彼は飛びあがつて喜んだ。月給が年十三回貰へるからだといふのである。けれども落付いて考へて見ると家賃も亦十三回支拂はねばならぬ。又或る商賣人に話したら、彼曰く「かけが年に十三回よる譯であるから、つまり資本の廻轉回數が一回増加します。さうすれば商賣人には誠に好都合です」と言つた。此の方が少し頭が好いやうである。

唯一年を十三ケ月とすると上半期、下半期と分ける時に工合が惡い。十三といふ數字は二でも三でも四でも六でも割れない奇數である。

それから一年の終りに一日あまつて來る。此の日は「平和デー」とか何とか適當な名をつけて休日にする。閏年には七月の終りに今一つ何々デーといふ休日をつける——といふのが此の案の大要である。發案者はカナダのコツツワース氏である。

西北軍に大打擊
閻氏の通電に出鼻を挫かる

【北平特電二十二日發】閻錫山、張學良氏等の通電は西北軍の行動に一大打擊を與へた、西北軍の領袖馬福祥馮玉祥父子は既に閻錫山氏の通電中に名を列し徐州に在り韓復榘、石友三兩氏の態度は尚不明だが韓軍は歸德、開封、鄭州の間に在り、青島に在る馬福祥氏は陳調元氏と協議の結果部下軍隊統率の爲め二十二日蚌埠、開封に向ふ事となつた、西北軍は此の際忍自重の外なかるべく對山西態度は一時惡化すると觀られてゐる

張學良は東省の威軍にて露西亞に抵抗し財力還盡するも其の志を固持してゐる、我等は一致協力外國に對せざるべからず改組派は時局紛糾の時期に乘じ策動せんとしてゐるが、中央の統一を擁護し各將領に危險なる時局の挽を望み國家の基礎を鞏固ならしめんことを固期す

鮮米移入の調節案は未裁決
米穀調査特別委員會

【東京廿二日發電】米穀調査會特別委員會は前日に引續き二十一日午前十時より首相官邸に開かれ
一、米價基準設定案
二、鮮米移入調節案
三、農業倉庫獎勵と低利資金融通案
を議題として審議の結果米價基準設定案に就ては米價の基準を設定することは緊要なるものと認む因つて政府は速かに米穀法の發動に必要なる米價の最高、最低の基準を制定設置すべしと決議を爲し鮮米移入調節案に就ては朝鮮總督府當局より移出米を調節する爲め政府補助の下に米穀集散地に倉庫を建設せしめ之に低利資金を融通する旨の說明ありたるに依り之に對して討議したが、裁決に至らず留保し農業倉庫獎勵と低利資金融通案に就ては農業倉庫を獎勵し之に低利資金を供給することゝの決議を爲し午後五時散會した
年内に之にて一先づ委員會を閉ち明年一月以後に於て審議を續行し議會明け迄には答申案全部を決定し政府は之に基き米穀法改正案を議會に提出する方針である

社會政策答申案
廿一日の總會で可決

【東京廿二日發電】濱口内閣三大一政策審議會中の社會政策審議會最後の總會は二十一日午後二時より首相官邸に開會左の答申案を可決した

▲諮問第一號に對する答申案
一、政府は尠くも年一回全國福要地方に關し失業統計調査を行ふと共に國勢調查施行の都度全國に亘り簡單なる失業調査を行ふこと
二、職業紹介機關の整備充實を期する事
三、物價金融の調節統制を圖る等講じて失業の發生を防止すると共に進んで產業界を安定せしむるの方途を講じ貿易の振興を圖り以て職業供給料を一層豐富ならしむるに努むること
四、地方的工業の發達農村における副業の獎勵其の他農村の振興農村生活の改善を圖るの外人口の都市集中を防止すると共に内外移住の圓滿なる發達を期すること

舊哈大洋票交換申請
總商會から

【ハルビン特電二十一日發】哈爾賓大洋票舊紙幣の流通は廿日で新紙幣との交換期は終つた張特別區行政長官は以後一切舊紙幣は無效であると布告したが、支那側商會はこれでは損害も非常に莫大に上り且つ紙幣流通に對する一般民衆の信用觀念にも影響を來すから今後總商會の保證にて一定の期間内交換に應じられるやう長官公署に申請した多分今後三ケ月間は延期されるであらうと

關東廳定期進級昇給
廿六日發表

關東廳の定期進級昇給は廿六日發令の筈であるが、秘書課では廿一日午後一時から日下秘書課長室に於て長官查定後の書類整理を行つた

期成同盟委員會

昭和製鋼所設置期成同盟會委員總會は二十三日午後二時より市役所にて開き、期成運動の經過を報告し上京委員五名選定寄附金の募集方法等を議する筈である

西山財務部長

五年度豫算折衝の爲め豫て東上中の西山關東廳財務部長は年内歸任の筈であつたが、都合に依り東京にて正月を迎へ來月三日神戸出帆のうらる丸で歸任することになつた

天氣豫報

廿三日　南西の風　晴一時曇

各地の溫度

	昨日最低	十一時
大連	零下一三、八	零下四、三
旅順	同一二、三	同三、三
營口	同二〇、七	同八、五
奉天	同二二、二	同一二、〇
長春	同二六、三	同一七、二

完成した旅大間の送電線

海關の沒收拳銃を奉天政府に引渡す

六百八十五挺と六萬七千發 本年六月以後の分

大連海關に於て去る昭和四年六月一日より今日迄に沒收した拳銃彈丸類は兩三日中に奉天政府に引渡す筈であるが、沒收拳銃の種類はアストラ六十三挺、モーゼル三百四十四挺、PB四挺、ローヤル二百六十四挺、コルト二挺、リバーチ一挺、ベルローク七挺合計六百八十五挺、彈丸は大彈三萬四千四百九十發、小彈三萬二千九百發合計六萬七千三百九十發、彈倉三百廿八、彈夾三百九十、木匣三百四で沒收の場所は大連驛、普蘭驛、埠頭檢查所等で主として携帶中のものを發見した場合が多く、夫れには貨物中より發見したり醬油樽の中から發見したり梅干樽、模造紙包中より發見したものがあると

郵便集配の勞苦を御慰勞

畏くも秩父宮殿下が 赤坂局員に御下賜金

【東京廿二日發電】秩父宮殿下には此の程御殿の郵便物集配に直接關係ある赤坂郵便局員の勞苦を思召されこれを御慰勞遊ばさるゝ有り難き思召より荒谷赤坂郵便局長を御殿に召させられ畏くも同局員一同に歳末御祝儀として金一封を賜つた斯る事は全く空前の光榮で荒谷局長は感謝し直ちにこの旨を二百八十一名の從業員一同に傳へたが、拜受した金は此の光榮を永く記念すべき品を購入して分配する由である

注目さるゝ越鐵疑獄の成行

當時の鐵相や次官にも饗應 政治季節を前に進展

【東京二十二日發電】越後鐵道事件は大體終了の如く見られてゐたが佐竹元鐵道次官の辭職から二十一日午後に至り突如事件は進展の端緒となり檢事局の命に依り警視廳刑事部大澤刑事は築地料亭新喜樂を訪ひ帳簿の押收を行ひ引揚げた、之に依つて事件は意外の人物多數が連坐せる事が暴露されたので其の人物は何れも近日中に檢事局より書面審理を行はるゝこととなつた右は前記の新喜樂より押收せる帳簿に依るものであるが夫れに依ると大正十五年十一月十五日(議會上程前)越後鐵道社長久須美東馬氏が新喜樂に招待して越後鐵道買收運動の爲め饗應した人物は

當時の鐵相井上子、降旗、佐竹兩次官、青木、村上、筧、古屋參與官、齋藤、八田兩局長等で何れも一人前八十圓の饗應を受けた事實あり更に昭和二年四月八日同料亭にて大津、岡本、小西、山本、櫻井、建部、山田、平井、中野正剛、中原、川崎、井本の諸氏等が同樣饗應を受けた事實が判明したが尚ほ別席に於て久須美氏は某々幹部二名と

數千圓の金錢授受を行つた事實も判明してゐるので同事件は政治氣節を前に更に紛糾するものとして注目されてゐる

好晴に賑ふ浪速町の歳の市

海上の時化で定期船難航

何れも入港が遲れる

海上が近來にない大荒を續けてゐるために大連に向ふ船舶は悉く非常な難航をつゞけてゐる、先づ內地定期船ばいかる丸は入港豫定を數時間遲れて午後三時港外着、上海航路の榊丸は二十二日深更に入港して廿三日朝乘客が上陸する筈であり、廿二日早朝入港の筈の濟通丸が正午すぎに入港する等あらゆる入港船は可なりに遲れる見込みである

打虎山の逃亡騎兵が煙台附近に出沒

一時は附屬地も危險に瀕し 遼陽署から急行す

【奉天特電二十二日發】奉天管內打虎山の騎兵隊から逃亡した約一百名の騎兵は漸次南下し十九日公安隊と衝突激戰を交へ、双方共に相當の損害を受けたる結果、賊軍は四散しその一部隊四十餘名が二十日遼陽縣大煙臺の東方朝鮮寺に現はれ村民を脅迫して食事をなし、防寒具と乘馬の用意を命じ同地出發二十一日午後二時煙臺炭坑西方に到着するや遼陽公安隊と衝突交戰數時に及び賊軍に多大の損害を與ふると共に煙臺公安分局長外三名負傷炭礦病院に緊急手當を申出で附屬地の危險刻々に迫りつゝありと同地駐在巡査よりの報告に接した遼陽警察署では長山署長總指揮の下に午後七時の列車で泉警部補以下同地に急行せしめ炭坑及び附屬地の警戒に努めた結果賊軍は遂に途中に於て拉した人質七名を引連れ炭坑を迂回して漸次南行せるものゝ如く目下炭坑附近は平靜である

ブルガリアの大吹雪

凍死者續出す

【ソフィア二十一日發電】ブルガリアの大吹雪は依然猛威を振ひ各所に慘害を與へて居り凍死者續出し電信電話線切斷個所多く各地では軍隊を繰出して修理に努めてゐる鐵道被害も甚大でソフィア、ヴァルナ線では六列車が雪中に埋沒してゐる

久振りで暖くなり

暮れの商店街大賑ひ 氣溫はまだ昇る

滿洲特有の三寒四溫も今年は師走に入つた例年稀な例外記錄を示し毎日零下八、九度より十一、二度までの寒い日が續き雪に埋れた市街は硝子張りの如く凍結して一入交通事故を頻發せしめ、寒さの爲めに風邪に罹る人も多かつたが、けふの日曜は久方ぶりの快晴で氣溫も急に昇騰したので、寒冷に閉ぢこめられた家庭の人々も迎春仕度の買物かたがたの外出に市中商店街は漸く歳末氣分の賑はひを呈した、大連測候所では昨今の天候について語る

二週間に亘り蒙古方面に頑張つてゐた高氣壓の影響で北風が吹き續き近年にない寒さが續いてゐたところ、右の高氣壓が漸く南東に向つて移動し初めた結果大陸氣壓降下し南西寄りの風に變ると共に遼東半島の風速が〻ち、けふ午前十一時に於ける溫度は旅順零下二・〇、大連同四・三、營口同八・五、奉天同一二・〇、長春同一七・二度と五度乃至七、八度高を示してゐるが風が西南に變るにつれ午後より明日にかけ溫度は更に昇騰し暖かさが加はる見込みである

次の長篇小說

元旦號より連載

目下本紙に連載中の小說「愛慾の窓」は好評の裡に近く終結を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく現代文壇の寵兒三上於菟吉氏に交涉しました處長篇小說『戀と地獄』の執筆の快諾を得挿畫は肖像畫家中の新進鶴田五郎畫伯の彩管に俟つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小說 **戀と地獄** 作者 三上於菟吉 挿畫 鶴田五郎畫伯

作者の言葉

僕の曝露文學はこの「戀と地獄」で自分としては一段尖端を示したものと言へると思ふ。僕はこの一篇に現代東京が含む一聯の美しき惡と刃との渦卷、それに捲き込まれて押し揉まれる小さき幾つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決心だ。僕は讀者の喝采が、あくまで素志を貫徹せしめられんことを望む。

道路凍結で三重衝突

自動車と馬車

廿一日午後三時半ごろ市內惠比須町一九五ヤマトタクシー運轉手荒木八郎(二九)が乘客を乘せて日新街方面より伏見町に向け進行中同一路沙河口より歸途にあつた市內奧町六四運轉手王滿泉(二一)が操縱する一五三號自動車が疾走し來り兩者が相避けんとして急停車せるも路上が氷結せるため滑つて遂に側面衝突し更にその反動で傍らを進行中であつた沙河口白雲山馬車收容所三區二號黃德海(二七)の馬車に衝突し黃及馬の首に約一週間を要する負傷せしめ荒木は二十圓、王は約百五十圓の何れも損害を蒙つたが運轉手兩名が馬車夫の損害を折半し支拂ふことゝし示談解決した

三越の店員が商品を入質

半歲に亘り店頭から二千圓の品を持出す

大連署に於ては數日前より各刑事を派して市內浪速町一〇五筑後屋質店、磐城町八九博多屋質店外各質店より續々眞新しい洋服、衣類等數十點を押收し來り刑事室に山の如く積み上げて三人の男を嚴重取調べてゐるが三名は當市內長崎市本大工町五四當時市內松林町三五大山通三越吳服店員藤崎繁(二七)、直江津市內與町二八元齒科技工師小林喜三郎(三九)、生村小林方元齒科技工師赤木卯三郎(三二)と稱し去る十二日赤木が前記博多屋質店に獺毛皮を二十五圓にて中村條吉の名義にて入質せんとするを擧動不審の廉に依り大連署刑事が取調べたるところ該品は藤崎より委託され入質した旨白狀したので更に十六日午後八時自宅に立歸つた藤崎を逮捕嚴重取調べたるところ藤崎は三越店員なるを奇貨とし本年六月一日店頭にあるレーンコート價格三十六圓を賣却品の如く裝つて持出し前記小林に委託し入質せるに味を覺え爾來約半歲に亘り洋服、吳服等商品を持出し前記兩名に一回二圓或は三圓の手數料にて委託し入質しては遊興に費消せるものでその被害價格は目下判明せるだけでも二千圓に上り莫大な贓品を押收された某質店の如きは其爲に破產に瀕してゐるといひ小林は十七日自宅に於いて逮捕された尚ほ赤木は昨年六月 旬齒科醫師法違反の廉に依り懲役四個月罰金百圓に處せられた事のある前科者であると

消費組合の正月餅搗き

滿鐵消費組合では昨今西公園町酒保二階で正月用の餅を機械で搗き出してゐるが、値段は內地米のし餅、圓餅とも一升四十八錢で目下の注文數は二百石の注文だと

龍口出帆の利生丸安否

荒天で難航か

去る十八日龍口を出帆した宇多商會所有利生丸(九百十三噸船長大西與三郎氏)は大連に向つたものであるが爾來四日を經過するも何等消息なく或は連日の荒天の爲め難航を續けてゐるのではないかと云はれてゐるが、廿二日入港した濟通丸の語るところによるとそれらしい船の姿を附近に見なかつたと一方船會社では二十二日午後に至つても消息なきときは無電局に依頼して搜査する方針である尚同船は燃料の積載が少量であるから或は燃料が不足して動けなくなつたのではないかと氣遣はれてゐる

調停無視で再び紛糾

姫高の盟休

【姫路二十二日發電】姫路高等學校のストライキは一名の犧牲者を出さぬ條件で解決したが、二十一日突如ストライキ參加學生に對し二週間、首謀者三名に六週間、同四名に四週間の停學處分を發表したので學生側は大いに憤慨し調停者の調停を無視せる學校當局の態度を責め抗議すべく協議中だが再び休校するに非ずやと見らる

靜高盟休解決

【靜岡二十二日發電】去る十七日より盟休を斷行し寄宿舍に立て籠り學校當局と對峙中であつた靜岡高等學校生徒六百名の盟休事件は一、生徒から學校に陳謝する事一、學校は犧牲者を出さぬ事の調停案で妥協成立し本日より全生徒は試驗を受くる事となつた

吉野町小火

二十二日午後零時二十五分吉野町十二洋服商福神滿乃のオンドルの煙筒不完全の爲め出火衣服蒲團等を焼いたが大事に至らず同三十分鎭火、損害約百圓

コドモページ

冬の理科

今ごろは……虫さん達 どこにどうしてゐるのだろ

昆虫の冬籠り生活

花から花へヒラ〱ととび廻るあの美しい蝶々、綠の繁みの間から、夏の來るのを知らせてくれるミンミンの蟬君、秋の夜をいゝ聲で鳴き通す音樂家のキリギリスや、コホロギ君、春から秋へお天氣さへよければせつせと働きつゞける勤勉家の蟻君たちは、此の頃の寒空に、どこに、どうして暮してゐるのでせう。虫君とは、あれほど、仲よしだつた皆さんもこの頃は、スケートのことや、クリスマスのことや

お正月のことばつかりを考へ、虫達のことなどは夢にも考へては居ないでせう。しかし、虫達はやがて來るべき春に、夏に、秋に、皆さんと遊ぶ日を夢見ながら、どこかにジツと寒さをこらへながら、冬の去るのを根氣よく待つてゐるのです。そこで、皆さんから、忘れられてゐる虫君達が、冬の間、どこで、どんなにしてゐるかをお話してあげませう。先づ

皆さんと一番仲よしのキリギリス君は、どうしてゐるかといふと、冷たい土の中に卵の姿でじつと世に出る日を待つて居るのです。その卵は、今年の秋、皆さんのお相手をつとめたキリギリスが、來年の皆さんのお相手に産んで置いたものなのです。そして、一年の役目を果した今年のキリギリスは、自分の生命を卵にゆづつて、今は土になつてゐます。それから、元氣な子供の第一等のお相手のトンボ君は、今どうしてゐるかといふと、キリギリス君と

同じやうに、自分の生命を子供にゆづり、その子供は、今池の中にサソリの兄弟分のやうな變な格好の虫となつて水の底にかくれてゐます。それから、皆さんの目を一番喜ばせてくれるあの美しいアゲハノテフや、かあいゝモンシロテフなどは、これも生命を次の子孫にゆづつて、その子供達は蝶とはまるきり形のちがつたサナギとなつて、寒さをしのぐのに都合のよいところにかくれてゐます。そこへゆくと蟻や蜜蜂はキリギリスや蝶などとはちがつて

働ける間にせつせと食物を貯へて置いたおかげで、冬になつても卵や蛹に生命をゆづる必要もなく成蟲のまゝで穴の中や箱の中に貯へた食物を少しづゝ食べながら暖かい春の日の來るのを氣永に待つてゐるのです。

將に氷結せんとする ナイヤガラ瀑布

世界一と言はれてゐるナイヤガラの大瀑布、一番高いところが百六十二フイト、一番巾廣く、水の落ちるところが、二百六十フイト、落下する水の力が四百萬馬力もあると言はれるナイヤガラ瀑布も、冬の威力にはかなわないと見えて、冬になると、すつかり水が凍り、萬雷のやうな水の音も、ハタと止つてしまひます。寫眞は凍りかけたナイヤガラ瀑布の壯觀です。

ニドメノ 大チャンノタンケン 〈166〉

ハルミチ作　ジラウ畫

チカラ イツパイ ナゲツケタ タマルモノ「ツカマヘラレテ タマルモノカ」
バクダン ハ、マモノ ノ アタマ 大チャン ハ ツカミカカツテ クル クワイブツ ノ オホキ ナ メダマ ヲ メガケテ ズドン一
シモトヲ、コロコロ トコロゲテ、ウミ ノ ナカヘ ドブーン、マモノ ハ イカリクルツテ 大チャン ニ トビカカツテ キマシタ。
大チャン ハ マモノ ノ マタ ノ シタ ヲ クグツテ パツ「ズドン」。タマハ ヒダリ ノ メ ニ ウマク アタツテ クワイブツ ハ カタメニ ナツテ シマヒマシタ。
スバヤク ウシロ ニ ニゲ「サアコイ」ト ピストル ヲ カマヘマシタ。

上り目下り目

中溝新一　（三）

（七歳の女の子に）

ほら、昨年の夏も夏家河子へ行つたでせう。そして海にはいつておさかなをすくつたり、泳いだりしたことがあるでせう。面白かつたね。滿洲子さんも七歳の尋常一年生さ。だからお水がづゝとひいた砂の上で蟹の赤ちやんをとつてると、ぽきりと右のはさみがとれちやつたの

「おかあさま、大變よ、この蟹の右のはさみが、自然にとれたのよ。あたしどうしやうかしら」と、泣きそうな顏をしていひました。

「そりやいけない。蟹さんのはさみがとれちや、これから手工もおさいほうも出來なくなるだらう。かわいそうに」とおかあさまはおつしやいました。

それには滿洲子も、すつかり困ちまいましたが、急にうれしさうに目をまあるくしました。

「お母さま、蟹さんは右のはさみがなくなつても左のはさみがあるわよ。一つあれば手工でも裁縫でも出來るでせう」

といひましたが、なんだか、かわいさうになつて、海の中へぽーんと放してやりました。

二　不意に海に歸つた蟹さん、大喜びではあつたが、氣がつくと、右の手がなくなつて居るので、痛くつてしかたがない。「アーン、アーン」とないたか「プープー」とないたか「チューチュー」とないたか、蟹さんのなきごゑを知つて居るかね。なに、知らない！學校の讀み方のさるとかにの中に、さるが蟹に柿の實をぶつけたが、あの時も隨分痛いからなんと言つて泣いたらう、今度、星ケ浦へ行つたとき蟹さんにきいてみやうね。蟹さんのお母さんも穴の中でこどものなき聲がするので大急ぎで這ひ出しました。穴の入口で小蟹が泣いて居る。

「おや、どうしたの、右のはさみがとれてるね。そりや痛からう、さ、早くおうちへおはいり」と、抱くやうにして中へ入れました。

しかし小蟹がいくら痛がつてもどうすることも出來ません。おぢさんも來ました。おばさんも來ました。近所の大蟹小蟹がたくさん集つてどうしやうかと相談しましたが、ちよこちよこ大きな臥の中から一番もの知りのやどかりのおぢいさんが這ひ出して云ひました

「右のはさみがとれちや、この子も大きくなつて困る。これは一つ龍宮城へ行つて乙姫さまのお醫者さんに頼まなくちや、きけば醫者の章魚さんは大層お上手だそうだ」

それからいかさんに頼んで、小蟹ははるばると龍宮城へ行くことになりました。

新刊兒童讀物批評

…大連讀物研究會…

菅原道眞公

守屋貫秀、新井庄太郎兩氏共著　學問の神、書道の神として崇敬されてゐる菅原道眞公の一代記を兒童向きに編んだものである童話風に面白く書かれてゐる。少年少女の讀物として適當なもの尋常五、六年程度定價の二圓は少し高いやうだ。大同館書店

兒童の作品

病氣

嶺前小學校三年　栗木元一郎

何んだか風をひいた樣だ。「お母さんふとんをしいて」僕はさう言つた。すると、となりのへやで、お母さんが「どこか惡いの」とおつしやつた。そして頭を、さわつて「すこしねつがある樣だ」とおつしやつて、ふとんをしいて下さつた。それから、僕は何もしらないでゆめうつつで夕方になつた。午後の五時半、お父さんが、會社から、かへつてゐらつしやつた。そして、僕のねてゐるのを見て「お正月のおもちがたべられないぞ」と言はれた。僕も一生けん命なほす氣になつた。それから、一週間たつて、元氣に學校へいける樣になつた。

新刊教育書紹介

▲學校經營（十二月特輯）「成城の學校の教育號」である。大正六年我國教育の革新を叫んで創立された同校は教育の理想境を描きながら覺しい進展を續けてゐる、本編は成城校の詳細なる紹介である（定價五十錢　東京麴町區四番町第一出版協會）

▲教育論叢（十二月號）教育大轉換の基調兒童生活の道德的特殊性について、國語教育の一家言その他講話、研究、隨筆等五十錢（東京市牛込區赤城元町文教書院）

米歐 ところどころ……（十一）

コロセオの 廢墟に立ちて

阿左見福馬

猛獸と人間とを闘はせて、面白がつて見物したと云ふ演技場。ローマ大帝國の壯麗と、暴帝ネロの惡逆さが偲ばれる。美しいモザイクや、彫刻は剝ぎ取られて、只巨大な殘骸がカスガイや、コンクリートの力で保たれてゐる。拾兒か、乞食か、或は案內か、きたない姿で子供がつきまとふ。ロンドンの乞食の樣に、手風琴でもやるといふ味がない。流石のムツソリニーの睨みも彼等には利かないと見える。左に立つてゐるのが記者です。

平安異香（207）

葉多默太郎 作　「中一彌 畫」

奔流（五）

女――お秀に添ひないその女は、もとの大路へは出ないで、反對の東へ向つて歩き出した。

お秀はもとよりついて行つた。

小半丁離れて、よそながらついて來いといつたので、お秀を行過させようと、わざと小歩になつてついて行つた。

が、四五歩行つたばかりで、早くも幸はお秀の様子に不審を抱いた。

小半丁離れるためには、さつさと行つてくれる筈のお秀が、一向捗取らない歩でゐる。

どうしたのであらうと思つてゐると、四五歩、ばた〳〵と早歩になつて、また立止つたのかと思はれるばかりの小歩になつた。

それが、何か此方を待つてゐるやうな様子にも受取れるので、追つて行つて、背中から、

「小半丁離れてよござんすな」

といつてみた。

「いけません。今日は駄目です。さうですね……」

背を向けて歩きながらである。お秀はさういつて少時ものを考へて居るやうだつた。そして、

「明日の晝午の刻に五條大橋の西の詰で待つて下さい。春光様にさういひますから。よいですね、午の刻、五條橋の西の詰」

といつて、遽に歩を早め、女とは思はれないやうな早さで行つてしまつた。

をかしい、どうしたのであらう？――

見送つてゐると、お秀は被衣の裾をひらりと飜へし、燕のやうな疾さで、西の辻を右へまがつた。

幸は、もとの大路へ引返すつもりで踵を返した。

その時、風のやうに、或は影のやうに面前を過つたものがあつた。

一人の百姓風體の男だつた。

怪しげな腰つきをして、ちらと幸を振返り、そのまゝ東へ走つて行つた。

不安のものを感じながら見送つてゐると、東の辻でたゝらを踏み、町角の築地にへばりついてお秀の行つた方角を覗き、周章てたやうに跳びあがつてまがつてしまつた。

あゝ、さうだ――

春光の隠れ家へ連れて行くといつたお秀が、俄に豫定を變へて別れてしまつたのは、あの男のためであつたのだらうと、幸に始めて判つた。

油斷が出來ない、恐ろしい――と思ふ。

自分の身邊にも遽に不安が感じられて、あたりに注意の眼を配りながら、幸は急ぎ歩に大路へ出た。大路の人ごみの中へ混りこんでしまつた。

さて、怪しげな百姓風體の男というのは、月夜鳥の黒住源八郎の下ッ端のからつけつの厳兵衛だつた。

厳兵衛はヒーヒー息を切らしてゐる。

一旬にわたる連日連夜の探命に、すつかり頬を憔落した、見るも無殘な厳兵衛である。

大盗冷泉夢之助が、さる不穏な大密を抱いて、大悲山臥龍城の一味徒黨オールスターキャストでもつて、洛中に潜伏した――といふ内報を得て以來、捕吏黒住源八郎は死物狂ひである。源八郎の股肱をもつて自任してゐるからつけつが、いやからつけつの厳兵衛たるものが、持ちあはせた命を投げだして、これを最後の御奉公と、骨身を枯らさないではゐられない。

はじめ、源八郎の命令で、幸を跟けて來たのであつたが、目前にお秀といふ大物が現はれたので、そこが機轉といふ奴、馬鹿正直ぢや捕吏は勤まらないといふわけで、急に方角を變へてお秀に附いた厳兵衛である。

小半丁先を、女房風のお秀が歩いてゐる――

富秋 補

映畫と演藝

大連劇場に酒井雲　初春興行決る

大連興行界の初春興行は各方面とも漸く陣容整ひ着々と準備を進めつゝあるが、歌舞伎座の喜劇に對して大連劇場は豫て噂された如く好評を博した文藝浪曲の創始者酒井雲一行を招聘し元旦より蓋をあけることに決定した、一行は酒井雲を始め雲王九、中川鯉昇、播右近、酒井金時等の座長格の人氣者揃ひで非常に期待されてゐる　酒井雲は言ふまでもなく早大出身の新人で文藝と浪曲の融合を圖り文藝浪曲を新作して常に好評を博し鹽の坂崎出羽守、淨瑠璃坂の仇討、恩讐の彼方、本能寺、喧々情等が十八番物として定評のあるものである、尚ほ一行は卅一日着のばいかる丸で來連すると

噂話

帝國館で「誰が一番お好きですか？」と俳優の人氣投票をしてゐるが▲男優では矢張り阪妻が第一位で次位が長二郎であるが、これは必ず若い女性がさん附で投票して來る▲また女優では若水絹子と田中絹代がいゝ勝負で絹の字の當り年だとある▲秋村氏が去つて倉田初美君が編纂してゐる「滿洲ベビーキネマ」の正月號は久振りで大いに内容充實したものをつくる▲それから圖案を應募中であつたベビークラブの徽章はMBCと頭文字を入れて近く出來上り新春を期して大いに活躍する▲一昨朝浪速館のスチームボイラーが破發して大騒ぎを演じたと▲正月興行に寛藏郎の「荒木又衛門」が上映されるらしいとの噂

買物ニュース

▲連町及大山通り商店街は各商店とも一齊に大藏の市大賣出しで中で例年にない緊張味を帶びて居る

▲新裝した電園下の連鎖商店街はこの十日から假開業をしたが歳末の特價大賣出しは豫想外の人氣を呼んで居る

映畫案内

俄然……松竹映畫との提携なる　十九日封切　市川右太衛門主演映畫　**三下野郎**　中村吉松、高堂國典助演　マキノ時代劇部秋期超特作　名トリオ原作脚色…山上伊太郎　監督…マキノ正博　キヤメラ…三木稔

浪速館　階下二十錢 この番組でこの料金！　怪談 **狐と狸** 桂武男、市川米十郎 泉清子共演　マキノ御室スタヂオ小品時代映畫 **首の座** 谷崎十郎、河津清三郎 櫻木梅子力演

十七日封切　市川百々之助主演映畫　◆**黒駒の勝藏**◆　甲斐の黒駒鬼より怖い鬼の涙も持ちやせぬ……百ちやん獨特の剣劇陣…大殺陣　帝王映畫我等の珍優モンテイバンクス氏大脱線演出　◆無理矢理 **空の大統領**◆　ソラ、ソラ空の亂舞 空中ジヤズ、大空征服の大レビュー おとぼけモンティ得意絶頂　◆**お母よ**（原名母性愛）◆　騰間林太郎、高律愛子共演

演藝館　階下三十錢 ◆◆切抜御持參下さい 一枚で三名迄適用　十八日より大公開 階下席五十錢　日活特作時代映畫 **大闘陣** 清川牡司、常磐操主演　パラマウント映畫社特作大喜活劇 互匠クラレンス・バッジヤース監督 お轉婆・ビーブダニエルス孃主演 美優・リチヤード・アーレン氏 **女シーク** 素晴しいギヤグとイットユーモアーの解禁大脱線　日活特作現代映畫 原作 如月敏・監督 伊奈精一 **百面相**（三朝小唄・秋内關蝶入）名人名花 小杉勇、梅村蓉子主演

大日活　廿三日より四日間！　亡び〳〵く寄席藝人の末路悲戀、戀の純日本趣味豐かなる藝術作品……暖かで樂に觀られる　階下三十錢解放　**鼠小僧次郎吉** 阪東妻三郎、森静子　江戸八百八町蜘蛛の巣の如き捕手の中を濶歩する義賊譚

帝國館　**愛の行く末** 栗島澄子、結城一朗　水郷に咲いた戀の花……純情の娘の戀よ多幸なれ……
人氣投票（廿一日午後八時）
林長二郎……二一三票
阪東妻三郎……一八二票
田中絹代……二〇八票
栗島すみ子……一九二票

國際館　十八日より公開　大東索提供 吾妻三郎主演 **長袖の剣士** 監督 山口好幸　階下 貳拾錢に解放　現代劇 **嘆きの白百合** 青木繁、川島奈美子主演　國際館主演 **首賣權三**

生殖機能と經濟的戰闘力

性慾が旺盛なれば――金は……獨りでに儲かる
衰弱すれば――いくらあせつても駄目だ

性慾

性慾が旺んなれば、勇氣活力を生じ、勇氣活力あれば事業學問にも人一倍に成功するは理の當然、論より證據世の凡ゆる成功者を見られよ、一人として薄志弱行にして性慾衰退の士ありや！

飜つて性慾早老の人を見よ！何事も悲觀退嬰グズ〳〵してゐる裡に、世間の人に甘い汁はみんな吸はれて何事と雖成功しない。

生殖機能ご算盤は完全に一致する、世の凡ての男女よ！將を射んとせばまづ馬を射よ金を儲けんとせばまづ性能を充實すべきである！

年末決算表を見て苦笑する前に一瓶のトッカピンを備えて次の商戰の覇者となれ。

トッカピン

左記症状の人に推奬す
△元氣活力をより以上に人生を愉快にしたき人
△除後て不能狀態亦は無精悲哀の人
△早漏で不結果初老の悩みを覺ゆる人
△遺精夢精で心身衛意の人
△神經衰弱不眠症で段々惡い人
△精力減退根氣喪失悲觀の人
△ヒステリーで貧血で家庭不和の人
△老衰せる人老衰を防ぎて若氣分でゐたい人

藥價	
三十錠	三圓（拾日分）
五十五錠	五圓（携帶容器付）
百三十五錠	拾圓（携帶容器付）
三百十錠	廿圓（携帶容器付）
郵稅	僅かに一個二錢

發賣元 丁子堂藥房
東京市銀座新肴町八 電話京橋（五五）一五四一、（五六）七五四、（五五）五四一番 振替口座東京七二二一番
大阪市西區新町通二丁目二 電話新町（長）四五七番 振替口座大阪一〇六番

◎全國到る處の藥店にあり
品切の節は――發賣元へ前金注文、送料不要、代金引換は送料實費、目立ぬ様送る。

節約の旅行
第九回 伊勢參拜團募集

◎團員の經費　金八拾八圓（御申込と同時に金貳拾圓拂込の事）
◎出發の期日　昭和五年一月八日（うらる丸にて）
●内地で自由解散が出來ます（有効九十日間の神戸―大連間乘船券を差上げます）

お正月を利用して御歸省の御勸め

巡回個所〔下ノ關、宮島、高松、屋島山、琴平神社、岡山、伏見稲荷、桃山御陵、京都各所、奈良、伊勢大廟參拜、日光、成田不動、東京各所、大阪其他〕
◎汽車汽船電車自動車拝觀料宿屋茶代ポチ等一切不要
●御申込みは人員に限りがありますからお早く願ひます
●病氣又は不得已不參加の場合は出發三日前迄なれば全額御返し致します

主催　崇敬會　大連市吉野町七十一番地　電話七九四七番　振替大連一七五八番

申込所

町	店名	電話
信濃町	池内豐文堂	電七七三二番
信濃町	鐘西旅館	電四四八二番
伊勢町	内山光明堂眞館	電四六六四番
柳町	門屋庫太郎	電三九六六番
浪速町	濱山呉服店	電五二三五番
若狹町	近藤指物店	電八六一六番
浪速町	中島鉄力店	電五三五七番
大石橋	白川洋行	電話一八番
遼陽	玉家館	電話五七番
撫順	筑紫館	電話六四番
奉天	寺尾呉服店	電二〇九番
奉天	武藏屋旅館	電二三九番
鐵嶺	中瀬呉服店	電二七五番
安東	徳光家具店	電話一〇四番
長春	吉田屋旅館	電話三六番

汽車汽船で御旅行の事は何でも御利用下さい　ジャパンツーリストビユーロー大連案内所

太らぬ毛赤毛染　君が代

▼全國有名藥舖にあり

定價	
粉製	四十錢
液劑	小五十錢　大七十五錢

黒髪は女の生命

雪の肌に漆黒の髪、それは如何に御婦人の容姿を引立てゝ麗しく氣高く懐かしく上品に化粧美を完全ならしむる物で御座いましよう
しら毛、赤毛染、君が代は如何なるしらが、赤毛、くせ毛でも僅かに三十分で見惚れる程の黒髪となる染毛剤中の最高權威で御座います
御婦人の身嗜として君が代の常用をお奬め致します

東京　山吉商店

●ノーシン頭痛に「ノーシン」●

花環 花籠　ばら屋花環店　大連西通近江町　電話三九一〇番

三ッ矢血肉人参葡萄酒

贈答用最適品

健全なる精神は強健なる體格より
健康を欲せばまづ『三ツ矢血肉』の一杯より
高級保健飲料
美味にして滋養 血を作り肉を肥す
特に今回に限り御愛飲家の御優待の意味にて各壹本御買上毎にコップ三個呈上
（此の三品添付）
コップ入りサック

至るところの和洋酒食料品店藥店にて販賣せり
發賣元　三ツ矢ソース本舗 越後屋
代理店　日本賣藥會社・禰宜田商店

十二月一日より三十一日まで
熊井奉仕品色々
年末特價 一割引
大連市伊勢町角　カバン商　熊井洋行

滿洲日報

醫學博士 原志免太郎著

灸法の醫學的研究

◆國民保健の新提唱◆
◆結核治療の新福音◆

著者は、灸法の研究に於て、學位を獲たる斯道最高の權威者である。其該博なる蘊蓄を傾け、其深奥なる實驗を盡して本書成る。此科學的に研究せられたる灸法は、必ずや無限の光輝を放ち、東洋醫術を世界的に復活せしめるであらう。目次大要を示せば、▼總論▼灸法の醫學的價値▼灸本態に就て▼灸法醫學應用面の實驗的研究▼結核治療の新福音▼國民保健の新提唱▼總括の七篇。消極的には病根治癒の最も簡便なる手段であり、積極的には健康増進の最も容易なる方法である。其意味に於て廣く大方に推薦する。

▼菊判二百六十餘頁 ▼定價貳圓五拾錢 ▼送料十四錢

春秋文庫

一冊五十錢

▲三五判一冊平均二百頁 ▲總クロース ▲送料一冊八錢

■小酒井光次著 實驗遺傳學概說
■W・スマート著 加田哲二譯 經濟價値概論

メンガー著 河村又介譯

改譯 新國家論

(社會思想研究叢書第二卷)

メンガーの學問上の貢獻は社會主義思想史研究である。而して彼の歷史的研究は必ず未來社會の檢討に逢着しなければならぬ。此點に關し彼が合理的と思惟する社會民主主義國家を描出したものが本書であり、在來の人道派併に經濟派社會主義を審に究明の上、進んで未來の民衆的勞働國家を國法學、行政學的に研究し、此に到達すべき道程を明示す。本書は久しく絕版となれるものに一層の推敲を重ねたもの。而して多年メンガ研究家なる此譯者こそ本譯の最適任者たるは言を俟たない。

四六判三七〇頁 定價壹圓卅錢 送料十二錢

荻原井泉水著 井泉俳話第四編

此一筋を行く

最も險しく最も新しい道、最も遠く最も難しい世界、この一筋を行く著者の、精進の記錄である。寔に此書は、眞に獨自なる著者の、俳話俳文の代表的結晶であつて、唯に俳句の世界のみならず一般文藝及び自然觀賞の新しい道を提示する。其目次の一端を示めせば▼そのままの心▼佇でものの味▼其人と其境▼放哉の事▼蝸牛▼樂む▼こんにちは▼足のうら▼一茶の事▼夜長の机にて▼旅する心▼元旦其他▼鳴雪翁逝く其他▼山蘆の家にて▼空白其他▼子供の言葉其他▼新しき俳句の將等

四六判三三〇頁 定價壹圓六拾錢 送料十二錢

日本俳書大系刊行會編

昭和五年 俳人日記

句作者の純好伴侶として、至便なる俳諧暦興として本書は一般句作家から絕大なる歡迎を受けつつある。◇俳句俳文を配せる日々欄◇句作欄◇季題◇知友名簿◇俳諧年表◇俳人住所錄◇俳句雜誌一覽等。下記は各月卷頭の題字執筆者。

▼高濱虛子 ▼河東碧梧桐 ▼村上鬼城
▼籾谷小波 ▼渡邊香風 ▼荻原井泉水
▼臼田亞浪 ▼宮田但春 ▼笹川臨風
▼中塚一碧樓 ▼島田青峰 ▼原石鼎

菊半截判 上製 定價壹圓卅錢 送料十錢

目錄進呈 東京日本橋吳服橋 振替東京二四八六一 電話日本橋二六七〇・二一六七・二一六八

春秋社

新年號 特別大附錄

北原白秋校訂

小倉百人一首評釋

トランプ一人占ひと新競技法 かるたの並べ方と取り方

別冊附錄は天下唯一の寶典です新春の樂しみを百倍する書はこれです。內容は先づ手に取つて御覽下さい。

令女界

女流大家短歌

海邊巖 茅野雅子 原阿佐緒 今井邦子 若山喜志子 御原樺子 與謝野晶子

□廿歲となりて(詩)西條八十
□白山茶花(歌)金子薰園
□朝(詩)川路柳虹
□山寺の冬(歌)穗積忠

新春創作

◆鞠子の「一九三〇交響曲」……岡田三郎
◆明日を待つ……龍膽寺雄
◆不死鳥のやうに……加宮貴一
◆A子の冒險……倉田百三
◆悲しき對面……沖野岩三郎
◆峠……北川千代
◆都會の情熱(長篇小說)……谷崎精二
◆日傘の蔭(新載長篇)……諏訪三郎

本號定價金五十錢 送料二錢

近代女性風景(實話)
□自敍傳……田中絹代
□哀れなる女賊 山元正
□疑問の女性 渡邊均

■人口問題と母性の自由(講座)……帆足理一郎

シネマ
危險大歡迎……パラマウント
進軍……松井潤田
嚴窟王 愛染地獄……千惠藏プロ ルイナルバ

その姉妹(小篇小說)……鈴木明子

簡易作曲法……草川信

一九五〇年の年賀狀 二十年後 淺原六郎・新居格・百田宗治・東郷青兒・竹久夢二

○リボンアートの手藝……淺岡中子
○ウーマン・レビュー ・東京市の産兒制限調査・感心な女車掌・海外ニュース・職業婦人の心得・その他の報道
○學園散步 我校の生んだエピソート・我校の名物ニックネーム集・全國女學校歌集・女學校漫畫集
○色・香・光

○晴衣着て(表紙)元波雄
○動題海邊巖(オクデン)口繪……蕗谷虹兒
○新しき年に望む(感想)
早見君子 杉浦翠子 高田セイ子 荻野綾子 西脇マチヨ 園部瑞穗 上田文子 宇野千代
○令女ニュース(グラビア)

年賀狀の準備には……

實例 令女習字帖

菊判美本 定價一圓八十錢 送料十二錢

所謂お手本式に流れず本當の實用習字帖で從來の型を破つて、諸名士の實例筆跡を擧げて百般の書式を習ふ樣に出來て居ります。

吉屋信子編 鈴蘭のたより
岡崎英夫畫 新綠のたより
加藤まさを裝幀 クロヴァー
孤りの友へ(手紙文集)
散文の描寫(美文集)

定價各金1.50錢 送料各金0.12錢

新年號

若草

創作

■社員素描(小說)……藤森成吉
■スペインの金貨(小說)……中河與一
■少女と二つの臺(小說)……保高德藏
■蜜柑(小說)……北川千代
■鸚鵡(戲評)……トリスタン・レミイ
■繪の匂ひから(中篇小說)……川端康成

一九三〇年に寄す
▽殲くして長久なるもの……北原白秋
▽ゴーリキーの言葉を呈す……秋田雨雀
▽含羞美學の腐朽を考慮せよ……新居格

現代の英雄
○空・飛行機・英雄……北村小松
○スポーツの場合……上宮晶一郎
○拔けば玉散る氷の刃……東朝之助
○名譽の笛吹き依田……有松
○豹とX氏……長谷琢也

歌と詩
柳原燁子 石榑千亦 窪田空穗 矢代東村 山口宇多子 上野壯夫

新髮と文學……工藤直太郎
投書家物語……井上不二郎

¥……0.30

女難
三十年前……白石實三
現代の女性……大木篤夫
三十年後……龍膽寺雄

男難
三十年前……小寺菊子
現代……林芙美子
三十年後……窪川いね子

一九三〇年型……文壇畫壇諸家

特輯
わが自傳スナップ 岡田三郎・竹久夢二・平林たい子・石井小浪・原阿佐緒・足立源一郎・谷譲次・宇野千代・山田順子・林房雄・東郷青兒・さゝきふさ・蕗谷虹兒・龍田靜枝・岡田三郎
X伯爵夫人のあばんちうる
A 美貌と廣告ぬと實行者……佐伯孝夫
B 追ふべからず……池田忠雄
C 一日の五十錢……永田龍男
D ビル會社創立事務所……北村秀雄
E 移り氣の倫理……安田專一
F ジョージ・バンクロフト……北村小松

清水澄子遺作集 さゝやき ¥1.20 送0.06

發行所 東京市日本橋區本銀町三 振替口座東京第二八〇番 大阪市西區阿波座通四 振替口座大阪第四三番

寶文館

建築－設計－監督 構造－計算－鑑定

大連市播磨町六七 電話三四九五番

宗像建築事務所 工學士宗像主一

新光社刊

日本地理風俗大系

第二回配本

見よ愈出でて愈驚嘆すべき此內容!!

その驚異的內容と壓倒的外觀とにより、滿天下を驚倒した第一回配本「東海地方篇」の後を承けて、我等は更により一層の自信と衿持とを以て、茲に本篇を提供する。堂々五百頁、關東北部三縣及奥羽六縣の自然と人文とは、學界權威者の科學的に興味ある本文、弊社特撮無慮七百の鮮麗無比の寫眞、之に加ふるに獨特の編輯と、原色版、グラビヤ版、ダブルトーン版、ハーフトン版等現代印刷術の粹を盡しそのあるが儘の姿を展開し來る。方に之れ最近出版界の一大偉觀!!

本篇特載地圖

理學博士 渡邊萬次郎氏原圖
特殊地形 立體模型圖

日光、赤城と榛名、磐梯海岸、松島、牡鹿半島、岩手山、八甲田山等の名勝地を最新式のブロックダイヤグラムにより、立體模型圖となした精巧無比の大パノラマ地圖無慮數十個、一見何人にも其地体構造を眼前に見るの思ひあらしむ。常に本編の一大光彩として滿天下に推奬するを憚からない。

本大系獨特の壯麗無比の大パノラマ寫眞

榛名湖と榛名富士
磐梯山北麓の湖沼

四六倍版四頁大の弊社獨特の大パノラマ寫眞、前者は撮影監督及解說渡邊萬次郎博士、後者は田中阿歌麿子爵、雄大なる大自然の風光を親しく現地に見るが如く壯麗無比のグラビヤ版印刷!!

本篇執筆者(執筆順)
京都帝國大學教授理學博士 小川琢治
東北帝國大學教授理學博士 渡邊萬次郎
京都帝國大學講師子爵 田中阿歌麿
日本大學講師理學士 福井英一郎
文學博士 喜田貞吉
東京商科大學助教授理學士 佐藤弘
東京女子高等師範學校教授 冨士德次郎
理學士 柴山雄三郎
東京帝國大學名譽教授理學博士 脇水鐵五郎
東京帝國大學名譽教授工學博士 伊東忠太
東北帝國大學教授理學博士 高橋純一
東京帝國大學地理學教室理學士 佐々木彥一郎
秋田鑛山專門學校教授 大橋良一
山形高等學校教授 安齋徹

愈配本開始

急告

本篇以後は絕對に分賣を謝絕す
豫約御希望の方は此際大至急最寄書店へ御申込み願ひます。本篇以後は豫約者のみに頒ち一部賣りは致しません。

第一回配本 東海地方篇 大增刷出來
部數に制限あり、此際取急ぎ御申込みを乞ふ。

一冊 金三圓八十錢 送料 內地卅六錢 海外六十五錢

世界地理風俗大系

第十一回配本

北米合衆國篇(上卷)

見よ總てに世界一を誇る此大飛躍振り!

初めて見る金門灣頭の光景より、サンフランシスコ、サクラメント、ローサンゼルス、シヤトル等の最近狀態は勿論、更にヨセミテ峽谷、コロラド峽谷、ソートレーキ、ロツキー山脈、特に自然の怪奇に滿つエローストン國立公園等北米特有の大自然の面目を活叙し、總てに於て世界一を誇る農場、工場、牧場、漁場等の產業的設備や、ハリウツドその他に於ける映畫製作狀況から最近に於ける黑人種の模樣に至るまで、米國西半部の自然と人事の一切を活寫し盡し、何人をも親しく其地に遊ぶの思ひあらしむ。(一冊金貳圓八十錢〒二十七錢內地)

本篇執筆者
商學士 岩崎英祐
林學博士 田村剛
農學博士 寺尾博
日活技師 中島仁
文學士 古屋敏惠
朝日記者 宮武繁
東京市電氣局長 筧正太郎
子爵 田中阿歌麿
日本大學監學 圖谷弘
早大教授 西村眞次
商工省技師 丸山善樹
理學博士 [illegible]次郎

東京市神田區錦町一ノ一九

新光社

振替東京四二三〇四番

最新刊

石川千代松著 人間 實價二圓六十二錢送料十二錢
新渡戶稻造著 東西相觸れて 實價二圓十錢送料十錢
德富猪一郎著 時勢と人物 實價一圓五錢送料八錢
松井千枝子著 死の舞臺 實價一圓八十九錢送料八錢
石丸藤太著 日本はどうなる 實價一圓六十八錢送料十錢
椎名龍德著 病める社會 實價一圓八十九錢送料十錢
小野賢一郎著 明治大正昭和 實價二圓九十四錢送料十六錢
鶴見祐輔著 現代日本論 實價一圓六十八錢送料八錢
池崎忠孝著 日本 實價九十四錢送料六錢
池崎忠孝著 米國恐るゝに足らず 實價一圓五十七錢送料八錢
谷讓次著 踊る地平線 實價二圓六十二錢送料十四錢
二荒芳德著 敢然頂角を往く 實價一圓五十七錢送料八錢
佐藤紅綠著 紅顏美談 實價一圓二十六錢送料八錢
有島武郎著 最後の日記 實價二圓十錢送料十錢
ヘンリーフオード著 加藤三郎譯 今日及明日 實價二圓三十一錢送料十二錢
佐々木邦著 脫線息子 實價二圓十錢送料十錢
高田義一郎著 結婚讀本 實價二圓三十一錢送料十二錢

大連市大山通 滿書堂書籍部 電話五五六八番 振替大連一三八三番

最新刊

岡田文檢中心 臨川著 日本哲學の 實價二圓十錢送料十二錢
北尾鐐之助著 近畿景觀 實價一圓八十九錢送料十錢
吉田良三著 工業簿記提要 實價一圓六十八錢送料十錢
尾崎行雄選 林田龜太郎著 普通選擧の話 實價五十二錢送料八錢
滿蒙文化協會著 昭和五年 滿蒙年鑑 實價一圓五十錢送料十錢
支那問題研究會著 支那の現實(前編) 實價二圓四十二錢送料十錢
直木三十五著 由比根元大殺記 實價一圓三十六錢送料十錢
永安百門著 產業改造への途 實價八十四錢送料八錢
松村金助著 鐵道功罪物語 實價一圓十錢送料十二錢
石黑忠篤著 一人で出來る健康法 實價一圓五十七錢送料十二錢
宮島新三郎著 現代英國文藝印象記 實價一圓六十八錢送料十二錢
風早八十二著 犯罪と刑罰 實價二圓八十三錢送料十八錢
鶴見祐輔著 最後の舞踏 實價一圓八十九錢送料十二錢
東西通信社 露西亞事情集 實價一圓五錢送料八錢
森本厚吉著 苦悶の經濟生活 實價二圓七十八錢送料十錢
風成志著 女心風景 實價一圓二十六錢送料八錢
川邊喜三郎著 社會學概說 實價一圓五十七錢送料十錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

わが田中駐露大使から勞農露國へ嚴重抗議
居留邦人の保護については信用が置けないと

【東京特電廿一日發】滿洲里、海拉爾居留邦人三百名の安否については最近、田中領事から露國政府を通じて外務省に死者一名、負傷一名のほか無事との報告あつたほか、何等報告なく氣遣はれてゐるがこれは露軍が田中滿洲里領事よりの電報を差押へてゐるともいはれ、かくては居留邦人の保護につきても信用置けず、在モスクワ天羽書記官は十八日露國外務省を問ひ

一、通信不通の理由
一、在滿洲里日本領事館の損害、日本ホテルの爆破、死傷者に對する責任
一、露軍滿洲里占領後の邦人保護
一、滿洲里占領後の通信は軍隊にて檢閲し居るため或は沒收、遲延等につき嚴重詰問したところ、これに對しロシア側は等あるも露支交渉成立までは仕方がない
一、日本領事館、日本ホテルの損害、邦人死傷は露支交戰の際の犠牲でやむを得ぬ
一、露軍は滿洲里占領後、日本人を充分保護してゐると返答したので同問題は引續き田中大使よりチチエリン氏に對し嚴重な抗議が行はれる筈である

國際列車、空しくハルビンに引返す
海拉爾の支那兵、暴狀を盡し邦人にも相當被害

【布哈圖二十一日發電】一週間立往生してゐた國際列車はハルビン領事團の訓令に依り廿二日空しくハルビンに引き返す事となつた、露國人の談によると海拉爾にあつた支那兵は露支人婦女に暴行を加へ且つ建物は殆ど破壞され英米保險會社の財産五百萬圓は烏有に歸し回復の策なく、日本人にも相當の被害あるらしい、海拉爾には目下赤色蒙古軍が駐屯してゐると、尚滿洲里の邦人二百名を始め市民は燃料に窮し垣根、物置小屋、馬糞等を燃料とし零下三、四十度の酷寒を凌ぎつゝあり外部よりの救濟を鶴首して待つてゐる

國境警備嚴重

【ハルビン特電二十二日發】露支交渉中なるにも拘らず國境の警戒は一層從前より嚴重にせよとの軍令を張作相氏から電命した

三島通陽子
子爵議員補選に當選す

【東京廿一日發電】貴族院子爵議員小倉英季氏逝去に伴ふ補缺選擧は廿一日午前九時から華族會館に執行され同十一時開票の結果三島通陽子當選した

少年團の育ての親

【東京廿一日發電】三島通陽子は人も知るボーイスカウトの御大將で日本に於ける少年團の創始者であり育ての親でもある、ひとところは章道のペンネームで文壇にも相當活躍したものだ、今度愈々亡父彌太郎子の遺志を繼いで政界に乘り出した譯で當年三十三歲、貴衆兩院を通じての最年少者である今後は所謂ボーイスカウトスピリットを基調として將來大いに活躍し樣といふのだそうな、彼の有名な三島縣令は通陽子の祖父に當り祖父さんの名が同じ音の通庸である處から能く間違へられるさうだ

勞働組合法案反對陳情
鄕男ら首相訪問

【東京廿一日發電】鄕誠之助男、藤原銀次郎、中島久萬吉、内藤久寛の諸氏は本日午後四時濱口首相を官邸に訪問、今議會に提出さるべき勞働組合法案に對し反對の陳情をなす處があつた

漢冶萍借款
製鐵所特別會計肩替りに決定

【東京二十一日發電】漢冶萍借款は大藏、商工兩省協議の結果愈々製鐵所特別會計に於て肩替りに決定したが其條件左の如し
一、金額、四千八百萬圓
一、十ケ年据置百四十五ケ年々賦償還
一、利子年二分
一、延滯利子は無利子とす
備荒資金公司及び南洋工業兩借款五百七十八萬八千圓は鑛石購入で償還される事となつた

鐵道建設改良と減債基金繰入れ財源

【東京二十一日發電】二十一日決定せる特別會計に於ける鐵道省の昭和五年度以降三ケ年間の建設改良並に減債基金繰入れ財源は次の如し(單位千圓)

一、益金

昭和五年	一二七、九九七
同 六年	一三二、六八五
同 七年	一三八、七一九

一、公債

昭和五年	四一、〇〇〇
同 六年	四二、〇〇〇
同 七年	四〇、〇〇〇

一、雜收入

昭和五年	二、〇〇〇
同 六年	二、〇〇〇
同 七年	二、〇〇〇

合計

昭和五年	一七〇、九九七
同 六年	一七六、六九五
同 七年	一八〇、九一九

鐵道會議

【東京二十一日發電】鐵道會議は來る二十七日午後三時より首相官邸に開催する

滿洲の將來
太平洋調査會の反響
(一)……保々隆矣

ジョージ、ブロンソン、リー氏の正論(承前)

而してリー氏の論文の第一は「京都會議に於ける滿洲」と題するもので、ポーツマス平和條約の時、日本が若し一八九六年の李鴻章ロバノフ密約を知つて居たならば、南滿洲問題など今日之を議する要はなかつたのである……

第五十七議會迫り民政黨の陣容整ふ
廿二日の議員會で指名される各役員顏觸れ決定

【東京二十一日發電】二十二日の民政黨議員總會に於て濱口總裁より指名さるべき院内總務は二十一日左の如く決定した
一宮房次郎、原夫次郎、頼母木桂吉、田中萬逸、中村啓次郎、小山松壽、木檜三四郎、小池仁郎、櫻井兵五郎、廣瀨德藏

議長	藤澤幾之輔
議員總會長	野田文一郎
全院委員長	西村丹次郎
豫算委員長	森田茂
決算委員長	清水留三郎
懲罰委員長	井上剛一
請願委員長	淺川浩

小野代議士民政黨へ入黨

【東京二十一日發電】愛媛縣第二區選出無所屬代議士小野寅吉氏は二十一日民政黨に入黨した

唐生智討伐各軍閻氏が指揮
各將領に對して蔣介石氏から通電

【上海二十一日發電】蔣介石氏は閻錫山、韓復榘、何成濬以下各將領に興ふる通電を發したが、蔣氏は其の中で唐生智討伐各軍は副總司令閻錫山氏を指揮せしむると命令し討逆軍が一日も早く唐軍を剿滅すべきを希望してゐる

唐軍の移動に夏斗寅軍進出す
劉峙、方鼎英軍と共に確山附近で激戰中

【北平二十一日發電】唐生智軍の一部津浦線に沿ひ移動したに對し夏斗寅、劉峙、方鼎英氏等再び出し、唐軍はこれを確山附近に邀撃し目下双方激戰中である、唐生智氏は鄭城に在つて督戰してゐる

勞働組合法案に
工業俱樂部より陳情

【東京二十二日發電】日本工業俱樂部の團、鄕、中島、内藤、木村、藤原の六氏は二十一日午後首相官邸に濱口首相を訪ひ政府が來議會に提出する豫定の勞働組合法案に就き右は階級鬪爭を激成する惧れあるを以て之を調和する爲め本工業俱樂部の有する意見を斟酌し社會局案の改正を希望する旨力說し詳細說明陳情する處あつたが、右に對し濱口首相は本法の實施に依り階級鬪爭を激成するとは思はぬ之に依つて勞資協調の實を擧ぐるものと考へる、社會政策審議會に於ても不必要なりとするものは一人もなかつた、本法は今日の輿論に聞いたものであつて工業俱樂部の意見も此の意味で拜聽し置き度いと答へた

吉海線が松花江支線の敷設計畫

【吉林發】吉海鐵路局總辦李銘書氏は從來吉林松花江により流出する木材は殆ど全部吉長線を經て南滿鐵道に輸出されつゝあり若し吉海線の運輸發展を期せんと欲するならば、須らく松花江岸に支線を引込みて松花江出しの木材を本線路によりて瀋海線に搬出することは同時に亦我利權の挽回ともなるべし、との同局營業課の報告に基き今回省政府當局に向つて松花江岸支線の敷設方を陳情した模樣である

避難の白系露人奉軍に掠奪さる
三河地方の三千名が興安嶺を越え南下の途中

【奉天特電二十二日發】國境三河地方に於ける白系露人三千餘名は露支紛爭に依り赤軍の進入を恐れ興安嶺を越へて更に南滿沿線に出でんとせるが國境守備に當つて居る奉天軍の爲め牛馬羊は掠奪され婦人の耳輪や指輪も悉く掠奪されたと

瀋海、吉海兩沿線の視察邦人を監視
風景寫眞すら撮影させぬ

【吉林發】東北邊防總司令長官張學良氏及吉林省政府當局が戴に瀋海、吉海鐵道沿線の自國官憲に對し外人(日本人を指す)の經濟的發展を阻止すべしとの密令を發し爾來同沿線の下級軍警に至る迄單なる邦人の視察旅行者に對しても格別の意を拂つて居ることは事實である、而して最近同沿線の視察旅行を終へて歸吉した總領事館栗本氏等の談に依れば、吾々一行が日本の官吏であることを知りながら沿線の下級官吏即ち軍隊の檢査及巡警等が到る處に護照の點檢を迫り、或は旅館に於ては保護の美名の下に夜間巡警の立哨を附して一行の行動を監視せしめる等非常に不愉快を感じた、殊に不可解に堪へないのは各地とも市街其他の風景寫眞を取ることを絕對に許さなかつた事である、彼等の我一行に對する監視的態度は瀋海沿線よりも吉海沿線即ち吉林省内に屬する地方が最も甚だしく感ぜられた云々

排日請願を拒絕
吉林の章民政廳長が

【吉林發】敦化縣城の一部排日支那人等が相謀り過般吉林省政府民政廳長章啓槐氏宛同縣城に於ける日鮮商民の商業禁止方を請願する所あつたが章民政廳長は右に對し諸君が國家の主權擁護のために一意專心努力して居ることは衷心感激する所であるが、然し我が領土内に居住する外國人の商業經營を禁ずる事は、國際公法上より見て通商國との間に之を實行する能はざるものであるから今回の請願は直ちに聽容し難い旨の回答を與へたと傳へられてゐるが、從來吉林官界に於て排日の色彩最も濃厚なる人物とし名高い章民政廳長としては洵に珍しい命令であると評判されてゐる

獨財政長官辭職

【ベルリン廿一日發電】ドイツ財政長官ヒルファーディング氏は最近の財政難の責を負ひ辭任した旨公表された

『飽く迄自說を固執せば監督官廳の決裁を』
來る廿四日、事務檢査委員會が市會を招集顚末報告

大連市事務檢査委員會では檢査立會人を指名する要なしとなり……

英露の經濟的協力を力說
國交回復最初の勞農大使著英ステートメント發表

【東京特電二十一日發】ロンドンよりの報導によれば英露國交回復後最初の勞農露大使として着任したソリニコフ氏は本日國交に關し左のステートメントを發表した……英露國交回復の政治的經濟的協力の必要を力說し……

工業發展

……

昭和製鋼所設置に積極運動

大連市内各種同業組合長の昭和製鋼所設置期成運動に關する會議は廿一日午後二時半より市役所で開かれたが、參會者は約二十名、先づ石本市長より約三十分に亙つて期成運動の經過を詳細に報告したるのち各組合の賛同を求めたるに對し、各組合長も大いに賛成し……

關東廳學務課長更迭發表

【東京廿一日發電】關東廳學務課長は本日左の如く決定廿三日發令の筈
……

對外爲替市場

……

滿鐵庶務部長木部氏辭任
廿一日附發表

木部氏略歷

明治三十五年……

滿鐵追加豫算說明

……

商工會議所令
明春三月末迄には決る
取引所令も近く公布されよう
小川殖產課長歸任の途へ

……

表具屋さんにも緊縮の風が吹きまくる
正月用の屏風、掛軸の注文減る
師走を行く(21)

お元日、今日は珍しくお父様はお紋付お母様は大丸髷、お姉様は振袖に高島田、私はお下げでお太鼓結び皆んな揃つて和服の姿で好きなお雜煮をいたゞきました

といつたやうな小學生の作文があつたとしたら當然私達はその背景に屏風と掛軸と張り替えたばかりの襖の姿を想像する

◇

大連には現在二十四、五軒の表具屋さんがあるが、その大部分は襖を主にやつてゐるといふ、緊縮不景氣そうしたものは當然この世界にも襲つて來てゐるに違ひない殊に屏風とか掛軸等はある意味に於ては贅澤品と見られてゐるからと勝手の想像を描きながら、所謂高級品を主に取扱つてゐる某表具店主を訪ねてみる

お話になりません、去年は正月物の注文に追はれ二十五日になつても注文が來て斷るほどにあつたのですが、今年は今月に入つてからまだ注文らしい注文もいたゞけない有樣です、それに品物も好景氣時代は百四、五十圓の物が相當に出ましたが今出るのは普通二、三十圓の物から十圓どまりです、以前は商人の人をお客にしてゐましたが、何分この不景氣ですから月給取の方に注文をいたゞいてゐますがそれだけに餘り上物は御座いません、よ、昨年十二月に比べますと二割位は注文が少い樣です

◇

襖等は家の必需品ですから家が建ち始める四月頃から可なり注文はいたゞいてゐます、値段らには勿論何十圓といふのもありますが、一圓七、八十錢から張替物で一番安いのは一圓位からあります、新調は一圓五、六十錢位までがよく出ます、まあ二圓五、六十錢から三圓五、六十錢位が普通な樣です

との話、更に角少し高價な物になるとこのお正月の座敷を飾る屏風等は完全に需要がない樣ではあるが、安い物は矢張り人口と家屋の増加に比例して相當に出るやうだ、殊に本年は新家屋が非常に多かつた關係上襖の新調注文は何處の店でも例年に比してかなり澤山あつたといふ、通常數にして師走の月は平月の約二割位の注文があるさうだが、それは無論正月物の注文である、普通の月に比して十二月の襖の注文に張替が非常に多い事はこの間の事情を充分に物語つてゐる

◇

例年の上得意であつた經界から注はどうか……「ある料理屋等は障子の張替まで止した程で此處等は普通世間以上の不景氣さで全くお話になりません」といふ次第だとある、なほ最近の好みとして軸物等は好景氣時代の派手な影は潜め地味なものが好かれるやうになつたといふ

聖上陛下畏くも復興の帝都御巡幸
お日取明春三月廿四日と御内定
雨天の際は翌日に

【東京二十一日發電】天皇陛下には明春三月復興帝都の御巡幸あらせらるゝ御内沙汰あり、去る十八日一木宮相は堀切東京市長中川復興局長官に有り難き思召を傳達する處あつたが、その後宮内省と關係當局と打合の結果、市内御巡幸御豫定日を三月二十四日と御内定、同日雨天の節は翌二十五日、當日も尚雨天の際には御決行震災當時悲慘を極めた市内各區を親しく御巡幸遊ばされ、更に二十六日宮城二重橋前で盛大に行はれる帝都復興式典に臨御遊ばされる事に御内定の旨二十一日宮内省より發表された

兩陛下お揃ひ葉山へ御避寒
皇女お二方御同伴
新年御儀式御終了の後に

【東京二十一日發電】天皇陛下には明春早々新年御儀式終了後九日皇后陛下並に照宮、孝宮樣御同道葉山に御避寒、議會休會明けころまで御滯留あらせらるゝ事に御内定あらせられた旨二十一日宮内省より發表された

李王殿下
松田拓相、齋藤總督ら御招き

【東京二十一日發電】李王同妃兩殿下には二十一日午後零時、麻布鳥居坂の御殿に上京中の齋藤總督同夫人、松田拓相、同夫人を御招きあり朝鮮統治狀況並に拓殖事業を御聽取遊ばされ午餐を賜つた

富士生命事件取調べの報告
北條檢事歸京

【東京二十一日發電】富士生命保險會社讓渡問題に絡まり元小川平吉氏秘書谷秀次氏が田中文相を相手取り背任横領の告訴をした事件は、東京地方裁判所北條檢事の係で取調べに着手し同檢事は去る十六日以來大阪に出張、松村藤田組會計課長を始め數名の參考人を取調べ多數の證據書類を携へて歸京、登廳と共に松阪次席檢事、鹽野檢事正、三木檢事長等に詳細報告をなしその報告に基き鹽野檢事正は松阪次席檢事と長時間に亘り重大協議を凝らした

大連西北兩港近く閉塞

大連港においては結氷期に入ると共に例年の如く西北兩港口を十二月二十五日より明年三月十五日まで防氷柵をもつて閉塞するが附近航行船舶は注意されたき旨海務局より各船舶に通達あつた

自由出品の無鑑査の美術展
大衆の批判に呼びかける
二科の新しい試み

【東京二十二日發電】二科會が主催となつて明春から無鑑査自由出品と云ふ新らしい試みの美術展を開くことゝなつた、之は同會の秋の展覽會とは全く別個のもので名稱も特に日本アンデパンダン展覽會と稱し洋畫、日本畫、彫刻に亘つて出品を受付けるが作者は何れ…なし得るかを試された問題なのである」

犯罪の證據にトーキー應用
費府探偵局の試み

【ヒラデルヒア發】最近トーキーが醫科學上の實驗その他各方面に應用され非常なる効果を擧げてゐることは周知の事實であるが近頃ヒラデルヒアの探偵局では犯罪事件にトーキーを利用して大に便宜を得る事實を確認し世界に於ける犯罪科學の領域に一新生面を開いたのである。イの一番にこれを試みたのは今年二十七歳になるウイリアム・ピータースと呼ぶ青年がその情人たる美術家のレオナ・フイッシパッハ孃を殺害した事件でこの青年が署長の訊問に對し自白せんとした際不意に探偵長の頭にトーキーのことが浮んだのに鑑み發する。そこで早速これを使用することにした。そして訊問が始まつた。

「ナゼお前はここに引致されたのか」

「人殺しをしたからでせう。私は昨晩私の愛人をピストルで殺害しました」

といつた風に殺害の次第を逐一自白に及んだ。そしてその時の青年の表情と語調とがハツキリ記録されたによつて陪審官の前に有力な證據物件が提供されることになつたワケで今後は引續きこの方面にトーキーを利用する筈である。

豆粕の食糧化に力瘤を入れる
蒸溜器も近く到着
世良試驗所長の歸來談

中央試驗所長世良正一氏は公用を帶び内地旅行中のところ廿二日入港はるびん丸で歸連したが船中語る「今度はどちらかと云ふと自分の用事が主となつてゐたものでついでに目下中央試驗所が研究中の豆粕の食糧化と云ふ事に關し内地のその筋の人達の意見を徴して來たものであるが、何れもやつて見て採算のとれるものだつたら是非實行に移して貰ひたいと云つてゐる試驗所の方でも更に努力を拂ふつもりでゐる、今州内に大豆の蒸溜所を設中でこれに要する特別裝置の蒸溜器を大阪の坂田工場に注文中であつたが、一向來ないので一寸催促して來たが、機械は漸く完成し次船の廿四日入港の香港丸で來る事となつた。尚試驗所ではこの豆の食糧化と云ふ事に對してこれを一種の國家的事業と見て夫々專門家が研鑽に研鑽を重ねてゐるもので如何にこれと經濟的になし得るかを試された問題なのである」

陸軍幼年學校入學試驗

昭和五年度に於ける陸軍幼年學校志願者召集試驗日時等に關し二十一日關東軍司令部より左の如く發表があつた

▲旅順檢査場　▲身體檢査、昭和五年一月十六日午前十時より旅順衛戍病院に於て實施す▲學科試驗、昭和五年一月十七日より一月十九日に至る三日間（開始時刻は身體檢査の當日試驗臨時委員より示す）旅順偕行社に於て實施す▲受檢人員、二〇名

なほ身體檢査當日は最近撮影したる本人の手札寫眞並に印形を攜行するを要すると

ルーベ氏逝去
前佛國大統領

【パリ二十一日發電】佛國前大統領エミール、ルーベ氏は二十日午後九時モンテリマーの自邸で逝去した

貴衆兩院議員を越鐵事件で書面審理
久須美氏から饗應の疑ひ

【東京廿一日發電】鹽野檢事正は廿一日午後小山檢事總長、三木檢事長、小原次官等を歴訪何事か重要打合せをなした、右は搬て重大問題越鐵疑獄事件が最早完全に終末期に近づいたのと目下市ケ谷刑務所に拘禁中の久須美前代議士の取調の結果、久須美氏が昭和二年四月八日鶯地新喜樂に貴衆兩院の主な議員に七十圓宛の饗應をなし越鐵問題の通過をはかつた事を陳述したため一應この點を究明する模樣である、右饗應を受くべき人は大津淳一郎、岡本實太郎、小西和、山本厚三、櫻井兵五郎、建部遯吾、松田三德、中野正剛、井本常作、川崎克、古屋慶隆、手代木隆吉、關矢孫一、平井吉三（以上民政）青木信光、井上匡四郎、八田嘉明（以上研究會）の議氏で右の内には陣中見舞金として百圓二百圓の小額を受けて居るものもあるといはれて居る

ハテナ？

交通兄弟姉妹、みな瞼こまぬいて思案顏――解つたアハ、家中大騷ぎ！ひ！富士新年號の附録「新案福袋」誰でも熱狂早く御覽！

…を取調ぶる必要に追られたものであるが、議會直前でもあるので右饗應を受けたと目される貴衆兩院議員を一齊に書面審理をなし誠相…

安東鮮人細民の耕作計畫進捗す
用地や資金の融通もついて
明年播種期迄に實現

【安東特電二十二日發】安東朝鮮人會其他が安東地方事務所及び安東領事館等の鮮人細民の救濟策として鮮人細民に耕作をなさしめるべく計畫し漸々準備を進め明年播種期までには實現の模樣である右に關して領事館林總領事は語る朝鮮人會の名で日下借入れの手續きをなしつゝある地は六道溝方面で地方事務所管理の分が約三、五萬坪、鐵道關係の分が約三、四萬坪で併せれば七、八萬坪であるが地方事務所では衛生上の目地から入營其他の牛肥料使用を禁じられてゐるので乾肥を使用する事に就て目下研究中である赤耕農資金の方は群金融會から何萬圓でも融通がつくし商業資金は滿鐵安東支店から農業資金は奉天の東拓勸業公司から特殊の契約で融通を受け現在でも順調に行つてゐる

吉林大學で敷地購入
明春校舍起工

【吉林發】吉林省立大學籌備委員會にあつては本夏休暇以來同校用地として吉海線總驛東方の土地八百〇九畝を購入することに決し、省政府の允許を得て所轄省たる吉林縣政府に照會の上、同地主と協商を重ねて居たが、愈々交渉纏まり吉林大洋六萬一千六百元を以て購入することになつた模樣であるが校舍の建築起工は明春三月頃となるらうと云はれてゐる

水谷八重子、羽左衛門等一千餘名が出迎へ、草人は令息武三郎と共に一旺的歡迎の中を自動車にて帝國ホテルに落ちつき、午後は市内新聞社を歴訪後朝日講堂の歡迎講演會に臨んだ

上山草人の晴れの入京
東京驛頭湧きかへる

【東京二十一日發電】鶴朝第一夜をニューグランドホテルに過した上山草人は、二十一日午前十時五十五分東京驛着晴れの入京をなした、ホームには草人が歸朝の櫻井…所屬大佐や蒲田スタヂオ所…

果樹組合總會

關東州果樹組合では二十二日午前十時から大連滿鐵協和會館に於て總會を開催し、定款の變更に就き協議をなす筈である

銀塊相場月別最高低表

ダイアグラム社では今回倫敦銀塊現物相場の月別最高低表を作成發行した、千八百三十三年以降、千九百二十九年（昭和四年）十一月までに於ける倫敦銀塊相場變動の歩みをその時々の世界各地の時局の動きと關聯せしめ、當業者は勿論素人にも直ちに判るように説明を加へたもので、金解禁を目前に控えた際とて客方面に於て珍重されて居る

金丸家不幸

金丸富八郎氏次女和子（二三）孃は病氣中のところ二十一日午後三時死去、葬式は二十三日午後三時餘中行列を廢し若草山西本願寺に於て執行の筈

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿三日（月曜日）

自午前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）

自午後〇時三十分　相場（特産、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニュース

自午後七時

一、ニュース

二、講座講座第二十七課大連語學校グロースマン

三、三曲喜慶成壽寺（明、三味線）森川とし子（箏）木次初枝（尺八）辻泰正

四、喜劇假の宿　高島屋源太一座

五、俗謠數種（唄、三味線）原田しげ

六、支那唱折魚殺家（唄）張筱卿、（胡弓）玉振泉

七、料理獻立

八、天氣豫報

滿日地方版

奉天

昭和五年度の公費を查定 二十日の地方委員會

昭和五年度奉天區公費查定の地方委員會は既報の如く二十一日午後一時より地方事務所會議室に於いて開かれた、太田所長、大岩地方係長、松本同主任其他數名出席地方委員側からは賈、北爪、大西、尾崎の四委員缺席の他鷲尻議長始め十二委員出席し、最初太田所長より公費查定に關する說明があり審議に移つたが、補給金問題で萩原委員と二三問答があり歲出豫算から協議を開いた、五年度歲出入總豫算は四十七萬一千八百五十九圓で昨年度より二十一萬一千九百二十五圓の減少で原因は下水排水ポンプの撤廢に因るもので、會議は順次進められたが、山本委員旺に質問し殆ど一人舞臺の態であつた鷲尻議長の裁決振りも又鮮かなところがあり左程の紛糾もなく閉會したが二十二日夜金龍亭に於いて懇親會を開くと

都市計畫案は大體承認さる 本社との打合せを終り 大岩地方係長歸奉

奉天における都市計畫につき着々計畫を進めてゐる地方事務所では大體の計畫が樹つたのでこの程大岩地方係長が赴連し滿鐵本社の幹部連と打合せをなし廿一日歸奉したが、同氏は語る

當地案は大體承認されたので無事に通過するものと思つてゐるが差當り現在の校地即ち中學校公學堂、數專等を南方新開地に移轉せしめ同地を商業地となし春日公園も交通の關係で取除けて通路とし傍に小遊步地を設ける豫定である是等の計畫は何れも明後年頃から着手されるであらう、その他は年々改造を加へ十年後には立派な都市とする考へである

消費組合の實情調査 野添書記長談

滿鐵消費組合問題實情調査のため赴連した野添奉天商議書記長は廿一日歸奉したが語る

自分としてはこの問題は純理論的に進まねば根本的解決は望まれぬと思つてゐる大連の新聞でも奉天も一緒になつて運動を開始すると傳へてゐるがこれは誤傳で奉天としては問題惹起以來市中商店側から屢々對策講究方を申出てゐるので輸州信用補償制度の內容聽取旁々消費組合問題の內容調査をなしたまでゝある廿一日の役員會で始めて本問題に觸れたのであるが問題といふのは現金賣、無稅商品の無制限、立替拂の四つにあるしかし要は純理論的に進まねば解決は困難であると觀てゐる

小倉新所長 廿七日に着任

小倉新地方事務所長は二十七日の急行で着任事務引繼を行ひ二十八日就任披露宴を張ると

日支共同調査 榊原農場問題

榊原農場內の無斷土地使用問題に對し奉天總領事館は支那側に抗議中であるが二十日日本側よりは森島總領事榊原氏代人中野辯護士、支那側よりは曹日本科長及市政公所の測量技師の共同調査を行つた

元陸軍用地の貸付開始

加茂町橫の元陸軍用地は屢報の如く來春一月早々貸付の受付を開始し三月までに決定する筈で貸付地積は八千坪であると

除隊兵離奉期

奉天駐箚除隊兵四百名は來る廿六日午後十時四十分發列車で大連經由離奉することになつたが一般多數見送りを希望すると

在滿鮮人調査

奉天省政府は南京政府よりの命に依り在滿の鮮人調査を行ふ事になつた

庵谷會頭歸東期

庵谷奉天商議會頭は二十日歸奉の筈であつたが、都合により二十二日神戶出帆二十六日頃歸奉の筈であると

町の便り

廿一日奉天署に對し年末貧困者救濟金として市中から𣘺立町十六番地某氏は百圓、十間房西本願寺からは米五俵、高原氏は米三俵を夫々寄贈した

◇

東亞勸業會社々長出淵銀行氏は廿一日午後七時から金龍亭に於て在奉新聞關係者その他を招待し張宴した

◇

廿日午後七時半頃浪速通六番地鹽人菓子店ヨーロッパ方より出火し大事に止らず消し止めたが原因はペーチカの設備不完全、損害百五十圓

◇

去る十八日突然姿を消した柳町い ろは樓抱妓長小染事中村たか子(一九)は廿日夜飄然と歸宅した

◇

朝鮮黃海道生前科一犯金成根(二二)は廿日夕市場正門通中黑洋服店に侵入し洋服地十一點價格四萬卅二圓五十錢を窃取し自轉車に乘り逃走の途中逮捕され目下餘罪取調中

瀋陽駄話

還回の露支紛爭で時來れとばかり奉天派はお得意の掠奪暴行を遣つて居る▲今の續その情報が達せないが何れ通信交通機關でも恢復したら戰慄すべき挿話を齎すべくそして人道問題として當然叫ばれるであらう▲饒舌の國民だけに「反對」を喜ぶ支那人の得てあり勝な事だが鐵道外交協會までが小幡公使反對などゝ騷ぎを喚し張御大に請願書までだしたゝ恐らく反對すべき理由さへ知らずにオーライ式にこの擧に出たものであらうが地理柄も考へず騷ぎと馬鹿げた猿眞似をするもの哉

人事

▲アツイエジ氏(駐日伊太利大使)夫妻廿一日安奉線急行にて來奉
▲市川營業課長 廿一日朝入奉公主嶺へ
▲川邊鐵道事務所工務長 廿一日歸奉
▲桂城食堂車支配人 廿一日赴連
▲白井鐵道事務所營業長 廿一日長春へ
▲孫傳芳氏 廿一日大連より來奉
▲西村拓務省事務官 廿日長春へ
▲陶尙銘氏 廿日夜大連へ
▲森脇四平街署長 廿日四平街へ

哈爾賓

富錦方面の露軍襲擊模樣 最近に歸哈した人が當時の詳報を傳へる

ラハスス、富錦方面の松花江下流に露軍が襲來した當時の狀況は支那側の一方的報道のため信を置かれなかつたが、最近同地方から歸來した人の話によると

十月廿八日午前と午後の二回に亘つて赤機が富錦の上空に現はれ彈を投下したのは碇泊中の江亭を威嚇するためであつたが、其時は[illegible]鴻烈氏の率ゐる江防艦隊三隻に引揚げた後で、戰鬪力を失つた江亭は遂自ら爆破沈沒し、愈々廿九日には露兵約一千五百名を乘せた五隻の軸艦をふくんで一隻の[illegible]に掩護され富錦を去る三十支里の地點に上陸し 當時支那軍は約三千がこれに應戰したが露軍の砲彈は城內に數彈飛來し非常な危險となり止むなく支那軍は富錦から百支里の地に總退却した、支那軍撃退した露軍は直に入市するや市內に潛伏せる支那軍の搜査を開始し且つ民家で銃器を有するものを全部調査した後德祥東、東興德の製粉工場から約一萬三千布度の麥粉を押收して引揚げ たが、露軍の撤退したのは卅一日であつた、其際公共機關は殆ど粉碎されたが露軍が撤退したと聞いた支那軍は再び進擊を開始したが、それより先に約二千名ばかりの匪賊—敗戰した支那軍—は掠奪を始め市內大小の各商店に對し一齊に襲擊をなし放火、强姦あらん限りの狼藉を盡しそれがため目星しい宏壯な建物は灰燼に歸しその災害を 受けたものは約百餘戶に達し電信、電話は不通となり一時は無警察狀態となつた

其後十一月七日に至つて初めて市內の秩序は平靜にもどつたが人心は依然として恟々動搖し謠言は盛んに流布され安定にならなかつた、最近は露軍の攻擊は第二として一般商店は店を閉ちた儘殆ど商賣をせず極度の金融難に陷ち吉林省政府に對してこれが一時的緩和のため臨時に地方的 の通貨として百萬元の發行方を商民團は交涉してゐるが未だ許可するかどうかの返答がない、其れで市中は全く火の消えたやうな寂寥さである大豆の如きも一時石二十三四元から七、八元を唱へてゐたが輸送の途中が危險と滯貨のために十三、四元に暴落した、支那人商人等は自國の國防軍に信賴せず一樣不安に襲はれてゐると露軍の襲擊よりは支那自國軍の暴動と掠奪を恐怖してゐることは恰度西部國境と少しも變りない

釋放しても國境外に追放 東鐵破壞の勞農露人

[illegible]獄に押送された犯罪[illegible]たが、拘禁ソウエート[illegible]人の露國領事[illegible]三監[illegible]に對し支那側は政治的犯人は別として東支の破壞工作に關係したものは假令釋放するにしても國境外に追放することに決したと

金州

異動は相當廣汎 長谷場氏は旅順に 池田氏轉任は未定 民政支署の人事近く發表

關東廳管下の人事異動問題は早くから話題に上り其の發表が遲れた爲め現在では少しヂレ氣味の觀があるが當地でもお多分に漏れず其の下馬評で持ち切つて居る確聞する所に依れば目下內定して居るものは稅務係主任長谷場純氏の旅順稅務主任と其の後任として大連稅務係酒井確爾氏の來任、電氣係主任木谷鶴次郎技手の勇退が確定して居るらしく後任獸醫長問題は內地より新輸入の事務官中か或は若干の有資格者中より拔擢する模樣であるが未だ確報を得ない、池田總務課長の普蘭店行か或は專賣局行の噂も專らであるが未だ何れとも確然せず、何れにしても近く發表さるゝ異動中に高級古參者の多數を有する當民政支署の異動の程度は大したものであらう

勇退する木谷電氣主任 退職後は滿電に入社

近く勇退する民政支署電氣係主任木谷鶴次郎氏は米金以來十餘年、當地官營電燈創設直後に來任したが爾來氏の手に成る電氣事業の變遷と擴張とは目覺ましいものがあつた、普蘭店の配電線路擴張、貔子窩線の擴張、三十里堡、石河方面の擴張、愛川村及び大魏山方面の擴張等其の功績は枚擧に暇なく一面生活に於ては金州の爲めに盡瘁した處少なくない、氏の離金に依り我が金州は一大寂寞を感ずることであらう、尙退職後の氏は滿電に入社する由である

營口

牛莊領事館御用納 御用始は四日

牛莊領事館では來る二十八日御用納めをなし一月四日御用始めを行ふと、尙同館の一月一日の拜賀式は午前九時半より同十一時半までの間に行ふと

武德會支部納會

武德會營口支部の納會は二十日營口警察署演武場に於て開會、出場者は警察署憲兵隊市中有志三十餘名、劍道は岡田敎師小川三段、岡松二段柔道は中國三段、横山三段の模範試合をなし岡田敎師の判にて高點試合、打太刀初段大森流居合、打太刀初段大顯寺宣義氏の帝國劍道形あり、五人拔は劍道一等鹽主大郎氏二等阿部初段三等丹野巡査柔道は一等久保巡查、二等宮澤氏三等岡田氏の成績にて石井署長より賞品の授與ありて閉會

敎化團體發會式

營口敎化團體の發會式は二十二日午後六時から營口座に於て開會「戶岬」「我等の日本」の寫映あり、驛本所長「敎化團設立に就て」神山一二三氏「大體觀念に就て」白石和二氏「昭和維新の精神」鐵島支部長「敎化と我慢」山邊北匡「國家の精華」石井署長「國難救の途」の講演に續いて社會劇「國難來」等あり盛會を極めた

開原

地委聯合會 提出議案と出席者內定

明年一月十八、九の兩日奉天に於て開催の第七回地方委員聯合會には當地よりは佐竹議長、龍田副議長久富委員の三氏出席の事に內定したと二議案を提出の事に內定したと又左の
一、滿洲産米穀の輸入解禁を政府に要望の件
一、在鮮人指導誘掖に關し滿鐵本社に要望の件

准職員合格者

滿鐵の第五回准職員資格試驗合格者は十八日付發表されたが當地在勤の合格者は左の四氏である
甲種 開原驛連結方 內藤豐
同 小學校小使 黑山一雄
同 公學堂小使 小林幸三郞
乙種 開原驛信號方 森萬壽郞

大麻と暦頒布

開原神社神職に於て伊勢大神宮大麻及び神宮暦は每年頒布しつゝあつたが本年は神職未決定の爲め各區長に依賴し各戶に頒布する事となつたが大麻と略暦にて金二十錢なりと

圖書館の休館

開原圖書館にては例年の通り來る二十八日より一月五日まで年末年始の休館をなすが繁忙の折柄時間を有意義に利用せしむべく且は讀書趣味の意味で二十六日と二十七日の兩日に特別帶出五冊を許可する事になつたと讀書子の福音と云ふべきである尙從來帶出中の圖書は整理上至急返戾ありたいと

鞍山

小包のなかに信書を入れるな 井之井郵便局長の談

本年も愈々押迫り各方面共慌たゞしい歲末氣分を見せて居るが分けても郵便局に於ける小包の發送事務は頗る繁忙であるが、年末の多忙に紛れ何等の考へもなく小包中に信書を封入して發送する者を各地で發見され最近遞信局で郵便取締方に依つて處分を受けたもの十件に達したとの事であるが之れに關し井之井郵便局長は左の如く語つた

小包郵便を內地に發送される場合に於ては小包の中に信書を封入してゐるか否かに就てはその都度訊してゐるが未だ鞍山においてはさうした例は一つも發見されないが御承知の通り內地行きの小包郵便は大連海關に於て遞信局の立會の下に開封されて檢査されることになつて居りその際假令紙片と雖どもこちらの意志が先方に通ずる樣な文章が認めてあれば信書と見做され郵便取締規則違反として處分されることになつてゐるから此點は一般に注意されたい

國際列車で戰線を突破の記 (二)

驛のプラットに吊された少年の首 國際列車を迎へて大芝居 博克圖にて 神藏特派員

十一時頃胡軍長から使が來た國際列車運轉について相談したいから司令部まで御足勞が願ひたいとの口上、早速行くことになつて東松領事官補、米國副領事リリストン、其他領事館關係者丈けが司令部を訪問することにして、何時まで經つても外交團が歸つて來ない、支那式に一同を歡待してゐるのだらうが新聞記者や通信員は氣が氣でない

◇交涉が面倒に なつたのではないかと一同心配し出した、そこで記者は紳士哈日子と一緒にこつそり樣子如何にと內報に出掛けた、そこへ東松官補が心配さうな顏をして胡軍長の話では免渡河とヤケノシとの中間で露軍二千が昨夜來襲した、免渡河以西は危險である、支那側は免渡河[illegible]では安全に保護するがそれから先は行くなら勝手にお出なさい生命の安全は保證し難い、と言つてゐたと告げる、何だか嚇し文句のやうでもあるが然し軍長ともあらうものが嘘八百を云ふ筈もない

◇兎も角電話と 云ふので電話室に飛び込んだがまだ何となく信じきれない氣がするので試みに電信技師に頼んで免渡河驛に問合せて貰つた、すると先方は至つて平穩だ、戰鬪らしいやうな樣子もないとの返事、免渡河からヤケノシまでは汽車で一時間足らずで、その中間で戰鬪のあつたのを免渡河の驛員が知らない、狐につまゝれたやうな話だ列車に歸つて來ると何時の間に書いたか大きな字で

◇歡迎各國領事 と大書してある、それまで氣がつかなかつたものか知らぬがプラットフォームの片隅に生首が吊してあるのを見た、少は不思議に思つて見ると附近の將校がニヤニヤしながら見せて呉れる、近寄つて見ると赤味を帶びた恐しい形相をへない、驛員が知らないところで土が附着してゐるそれは地に落ちたものを拾つて欄に吊るしてゐるのだらう十六、七の少年だ、何故斬られたか理由かは知らぬが可哀さうに

見せる、一士官がぐる〳〵と一巡して

◇恨めし相に睨 んだ目がこちらを向く、驛中がグッとする、驛の士官が頻りに遠方を指して行から行からと云ふ、何を見せやうと云ふのか知らぬがこの上首の離れた胴體でも見せつけられちやたまらないから御免蒙つた、午後又露驛警察署長が通譯をつれてやつて來た、この列車は午後三時に免渡河に向ひますと傳へる、その時リリストン米國副領事君がすかさず「あのこの生首はどうしたのですか」と尋ねる、驛署長は待つてましたと許り「あれは一兵卒ですが軍規を破つて民家の掠奪をしたからです」と、それで讀めた、あれ程の掠奪が一少年の犯行だとはあまりに空々しい國際列車が來ると云ふので大分カラクリがあると一同感付いた

愛慾の窓 (196) 戶川貞雄作 淺枝次朗畫

審判 (六)

犬のやうな鋭い感じかたと多年の經驗とから、龍吉は先方で感付くより前に、いつも此方で危險を感じ取るのであつたが、今もさうだつた、一間を越える川巾の小川を、身輕くひよいと飛び越えると彼は思ひがけない目の前に、雪を被つた生垣がうね〳〵と續いてゐるのを發見して、犬のやうにもぐり込んでしまつた。もぐり込んでから氣が付いてみると、そこは墓地であつた。よほど由緒のあるお寺の墓地なのであらう、ところ〳〵に古木が蓊鬱と影を落してゐて、小徑が縱橫に石塔や卵塔婆の立つてゐる間を通じてゐる。

——ほう!こいつはお誂へ向の場所へ忍び込んできたものだ。

龍吉は立木の暗い影に身を寄せながら、膝や肱にねばり着いてゐる泥雪を拂ひ落した。そしてかゝる場合にはこの上もなくうまい味のする煙草を喫ひはじめた。

あたりは靜かだつた。

風は全く無く——しかし自から撓けて落ちる枝雪が、折々、ばさりと人の跫音ほどの音を立てるもとよりそんなことに怯える龍吉ではなかつた、一服しおはると、立木の影をふみ出て、彼は今更のやうに月を仰ぎ見た。白金のやうにきん〳〵と冴えた月だつた。じつと仰いでゐると、眼が痛くなるやうな氣がした。

——いゝ月だなあ!

龍吉はおぼえず呟いて吐息づいた。

——さて、お月さん!おれはこれから何うなるんだ?は、そんなことをお月さまが知るものか!馬鹿だな、龍吉は!

だが、彼はその時、月が、可哀さうな龍吉よ!と叫びかけてゐるやうな氣がした。いや、月ではない、姉の美知子が……。

龍吉の眼からは、淚が溢れ出した。

——姉さん!堪忍しておくれ!おれはまた惡いことをしてしまつた!

姉の美知子を想ふと、いつも彼には後悔慚愧の念が醒る。だが、その姉にはもう二度と再び會へないのだ。

今更のやうに、やるせない、寂しさが、ひし〳〵と胸に迫つて來た。

バサ〳〵ッと音を立てゝ、高い立木の梢から、雪が落ちてきた。

するとその後には、また二倍にされた靜寂が返つてきた。月の光はいよ〳〵白く、歷々と雪を頂いて立ち並んでゐる墓碑は、明暗をくつきりと際立たせつゝ、まるで氷の柱のやうに見える。

ふと龍吉は、死を考へた。

——一層のこと、死んじまはうかな?その方がおれ自身にも、姉さんにもいゝんだ!さうだ、おれが生きてゐることは、姉さんのこれからの生活に絕えず暗い影をさせることだ!

立ち並ぶ墓の間の徑を、龍吉はうなだれながら步き廻つた。

——何故、そのことに氣がつかなかつたんだらうなあ……生きてゐたからつて樂しい世の中ぢやあないのに!はゝ、馬鹿な龍吉!可哀さうな龍吉……

その時、しかし龍吉は步みを止めて、傍らの立派な墓の鐵柵の蔭に身をひそめた。雪を踏んで近づく人の跫音を耳にしたからである、やがてがや〳〵と話聲も近づいて來た。

「……しかし、こんな雪の夜更けですからのう、よもや、墓地なんぞへ……」

「いや、何とも云へん!姿を見掛けた人が……」

龍吉は、自分のことを云つてゐるのかと思つて慄乎したが、間もなくそこに現れた人々を窺ふと、寺の提灯を携えた寺男、それに若い納所坊主と後から老僧らしい人、他に寺男らしい若者に提灯を提げさせた老人といふ人數で、警官や刑事らしいものゝ姿はないので、彼はほつとした。

「……見えんやうですの」

「……するとまだ來んのかな」

「……どんな事情からか存じませんが、靜岡へお戾りになれば、やはり眞先に……」

「いや、眞先にこゝへ來さうな氣がするのでな……わしは心配でならんのぢや」

龍吉は見咎められることをおそれながらも、彼等が聲高にそんなことを語り合つてゐるのを聞いてゐた。

新刊紹介

▲世に勝つ 附新豫言(決學士湯淺一雄氏著)金解禁をすれば不景氣は益々深刻になるものと覺悟しなければならぬ、併し吾々はこの不景氣に負けては居れない、これを押しつけこれを切拔けて生活の勝利者となる事が必要である、それにはどうすればよいか、著者は知事の職を擲つて浪人となり阪神展を考へてゐる內に奇蹟的に奧伊豆の聖師と尊稱されてゐる友人に邂逅し科學が說明し得ぬ人間の力、自然の靈力を體得して其友人からその冷靜な達觀し新豫言を聞いて體得し世に勝たんとする人に提供したのが本書である(定價金一圓二錢、東京市日本橋區本石町三丁目至誠堂書店發行)

滿日俳壇 募集規定

次回課題「多の月」「毛衣」「千鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八二、島田靑峰宛

▲新聞風景(創刊號)新聞內報界の若い人達によつて創められた雜誌で新聞人の寄稿多く從來の新聞に關する雜誌に比べて非常に興味が深い(定價金三十錢、東京府下荏原郡矢口町字塚一九五新聞風景社發行)
▲南滿洲警察協會雜誌(十二月號)定價金四十錢、旅順關東廳警務局內南滿洲警察協會發行
▲海防(十二月號)定價金二十錢東京市麴町區丸ノ內一丁目六番地海防義會發行
▲さつき(十二月號)定價金三十錢、東京府下駒澤町上馬六〇六番地さつき發行所發行
▲世界と我等(十二月號)定價金七錢、東京市麴町區丸の內二丁目十二番地國際聯盟協會發行
▲世界美術全集(第廿七卷)古典派、浪漫派バルビゾン畫派、淸の末期、德川(享和久政)時代等の逸品百三十八點を輯む、コロー、ミレー、ターナー、ジヨーン、コンスターブル、抱一、文晁、竹田、鐵雲泉、北齋等の筆は中でも光つてゐる(豫約品、東京市麴町區下六番町一〇平凡社發行)
▲愛誦(一月號)萩原朔太郞、川路柳虹論、三木露風論、堀口大學論其他多數の詩短歌等を收む(定價金五十錢、東京市小石川區江戶川町一八交蘭社發行)
▲スタイルブック 新聞雜誌に執筆する者の必參考書である非賣品、大阪市北區堂島上二丁目四六大阪每日新聞社發行)